

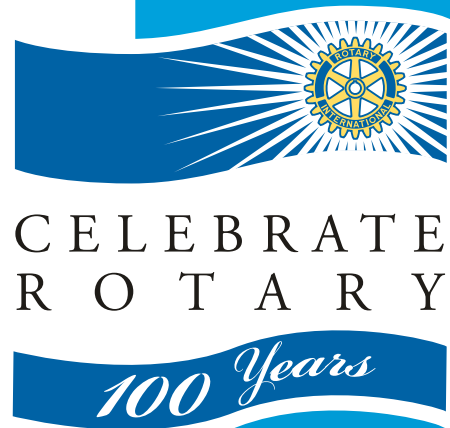
国際ロータリー 第2510地区

2004-2005年度

ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区
2004-2005年度ガバナー 遠藤 秀雄

〒059-0034 北海道登別市鷺別町2丁目31-1 医療法人社団友愛会 患愛病院2F
TEL : (0143)82-2510 FAX : (0143)82-2512
e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL
2004-2005
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

| | |
|---|----|
| ガバナーs LETTER | 3 |
| ガバナー日記 | 4 |
| 2月は世界理解月間です | 5 |
| ガバナー補佐会議報告 ～グループ別各クラブの活動報告・計画～ | 6 |
| 地区委員会活動報告 ・ロータリー市民講座開催報告 | 17 |
| クラブ活動紹介 ・スリランカへの中古自転車贈呈完了!! | 17 |
| 2006-07年度 ロータリー財団国際親善奨学生募集要項 | 18 |
| グレン・エステスRI会長主催祝賀会議へのご案内 親睦活動委員会ニュース RI100周年記念国際大会 | 19 |
| ハイライトよねやま59 | 20 |
| 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます ロータリー誕生100年記念植栽事業 | 22 |
| こんにちは! 第3グループです | 23 |
| こんにちは! 第6グループです | 24 |
| ロータリー文庫通信 掲示板/ガバナー事務所からのお願い | 25 |
| 12月会員増減数・出席率報告 | 26 |
| 2・3月地区カレンダー | 27 |

2004-2005 Governor
ENDO HIDEO

Keiai Hospital 2F, Washibetsu-cho, 2-31-1, Noboribetsu, Hokkaido, 059-0034, JAPAN
(e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp) TEL.81-143-82-2510 FAX.81-143-82-2512

No.8
2005.2

国際ロータリー第2510地区2004～2005年度

ガバナー補佐会議報告

本年度第2回目のガバナー補佐会議が、2005年1月23日（日）に室蘭のホテルサンルートにて開催されました。

議題は上期活動報告及び下期活動計画について、そしてガバナー要請案件（会員増強、会員数、ロータリー財団寄付及び米山寄付の現況、ポリオ・プラスについて、ロータリー財団のマッチング・グラント、その他）でした。

各ガバナー補佐からの発言要旨及び、提出原稿を6頁から16頁に掲載しています。極力多くお伝えするため、本誌2月号と3月号に分けお載せします。



参加者 /

遠藤ガバナー、塚原ガバナー・エレクト、各グループガバナー補佐（山本、鈴木、土谷、小山、丸山、関、大谷、蘇田、鈴木、加藤、吉川、藤澤）、事務局全員

G GOVERNOR'S LETTER

- 世界でいま -

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 遠藤 秀雄



暮れも押し寄せた12月26日にスマトラ沖大地震が発生しました。M9.0で阪神大震災の1,600倍のエネルギーと言われています。更に不幸なことにインド洋大津波を巻き起こし、過去に類を見ない大惨事となりました。東南アジア、インドは

言うに及ばず6,000kmも離れたアフリカ東岸にまで被害が及んでいます。10ヶ国以上、150万人が一瞬にして被害を受けています。2週間を経過した今でも、まだ被害の全容は不明であり、死者、行方不明者数もさだかではありません。運び込まれた救急支援物資も全く被災者の手に渡っていない所もあると言います。普段防災の備えのない、しかも観光地で旅行者が多かったことも、混乱に拍車をかけた原因となっています。

それにしても被災地域が余りにも広範囲であり、情報不足から救援の手を誰がどこから、何を、どのような方法で行ったらよいのか、迅速に動けなかった事情は想像にかたくありません。各国や団体、個人が救援の意思表示を次々にあげていますが、バラバラでは手の打ちようがありません。国連主導がようやく決まったので、これから組織的な支援活動が展開されることになりませんが、まず早急に必要なのは食糧と十分な水でありましょう。飢餓と感染症の二次災害の拡大を防ぐことが大切であります。

国際ロータリーも救援活動をどのように行うか迷ったようであるが、1月4日に国際ロータリーが主体となることを各クラブに呼びかけました。勿論、友好関係にあるクラブや知人が被害にあわれた会員がクラブとして、個人として支援活動をされることは吝かでは

ありません。しかし、各ロータリアン全員が、国際ロータリーの一員として一人でも多くの被災者の支援に協力することは是非必要なことだと思います。

2月は世界理解月間であり、その主旨にかなう奉仕活動と考えています。肉親を失い、家や財産や公共施設までを失った大勢の人達の支援は途方もない金額と時間を要することが考えられますが、世界の平和と人道的支援活動を1つの柱としている我々ロータリアンにとって心しなければならぬ事だと思います。

昨年は日本でも自然災害の多い年でありました。台風が10コも列島縦断をしたし、新潟・中越地方に大震災をもたらし、各地に大きな被害を与えました。被災者の皆さんには一日も早く立ち直っていただきたいと願っています。地殻変動の多い日本列島にあってはいつ、どこで大惨事が起きるかわからないと警告する学者も多いので、各自が常日頃備えをしておく事が肝心でありましょう。

話は変わりますが1905年2月23日はシカゴで初めてロータリーの例会が持たれた記念すべき日でありませぬ。かねてお願いしてあるように、各クラブで或は各グループで相応しい例会や集会を開いて欲しいと思います。今年は丁度ロータリー100周年に当たります。過去の歴史を築いてきた先人に感謝し、輝かしい将来に向かって祝う心が今求められています。昨今、日本では身近なロータリアンが退会されたり、新入会員が減少して淋しい思いもありますが、世界には120万人以上の我々の仲間がいることを忘れてはならないと思います。6月には100周年記念国際大会がロータリー発祥の地シカゴで開催されます。この節目の時にロータリアンで居られる幸せ感じながら大勢の地区会員と一緒に参加したいと願っています。そして世界の仲間達と一緒にロータリーを祝いたいと思います。

ガバナー日記

12月1日(水) ロータリーの友委員会

木下委員長が体調を崩しておられるが「友」4月号に第2510地区の「地区のたより」の掲載が決まっており、その内容を決めることが急務のため佐藤、坂井、斉藤委員と協議、色々な考え方が示されたが、各クラブの地道な活動で、しかも話題性に富んだ活動を報告することに集約された。これも様々な、甲乙つけ難い活動報告の中から、千歳セントラルRCの「米山詣」と、室蘭東RCの「あれこれなんでも相談室」に決定する。2月10日までにロータリーの友事務所に原稿を送ることになっている。

地区内の各クラブで委員会の名称がどのようになっているか調べてみたが、「ロータリーの友」を名乗っているクラブ数は15、雑誌委員会が30、情報・会報・広報と雑誌委員会を統合しているクラブ数が25であった。

12月11日(土) ローターアクト地区協議会が函館で、地区青少年委員会によるオーストラリア受入学生送別会と第2740地区受入学生交流会が札幌で開催された。他の会合にも出席しなければならない関係上、後者に出席し、御挨拶を申し上げた。オーストラリアからはジェンマ、ヒュー、エバン君とアリサさんが1年間、新札幌、札幌手稲、由仁と札幌北RCのホストで勉強されてきたが、日本語も達者になり、教員やホストファミリーとうちとけ、大勢の友達が出来て、十分にその役割を果たしていただいたのが印象的であった。また2740地区(九州)から10名の交換学生がスキー旅行で当地を訪れ、まだ十分に整備されていないスキー場でも、初めて見る雪に感動しておられた。私は中途退席せざるを得なかったが、良い思い出と楽しい交流が出来たものと信じている。

12月18日(土) G S E 派遣団員選考会がロイトン札幌で行われた。今年度は10月にタイD・3350からソンプー

ンリーダーと4名のメンバーが当地区で研修されたが次年度は土橋信夫リーダーと4名のメンバーを4週間タイに派遣することになる。今回は書類審査で不備のなかった4名が受験。レポート、英語力試験と日本語による面接試験が行われたが、120点満点で4名共100点前後得点され、山名委員長の今年は皆優秀であるとの言に納得をした。これから1年間土橋リーダーを中心にG S E 委員のトレーニングを受けて出発することになるので、素晴らしい成果が期待できると思う。

12月21日(火) 地区事務所忘年会を行う。登別RCは40名の小さなクラブであり第9グループと云う共同体に支えられ、地区の仕事をしてきたが地区幹事、財務委員、事務員の努力に負うところが大きい。特に事務を担当した阿部智子さんは小林年度に引き続き、エレクト時代を含め1年2ヶ月間熱心に手際よく支えてくれたが、今月一ぱいで退任、後任には熊谷久美子さんが引き受けてくれており2人の歓送迎会をかねて行われた。

1月7日(金) 第3回指名委員会

10月3日までに各クラブからの推薦がなく、その後、遠藤正之指名委員長を中心に指名委員会が候補者を当たってこられたが、これまで決定をみるに至らなかったが、やっと本日、札幌真駒内RCの丸山淳士会員について審議され、出席された指名委員10名の一致した賛同を得て推薦された。それを受けて指名委員長とガバナーが丸山会員邸を訪問、指名結果をお伝えし、同意が得られた。

1月8日(土) 札幌真駒内RC会長、藤井久弥氏に指名結果を報告、クラブ総会で了解して頂くようお願いする。ガバナーとして人事の一区切りの目処がつきホッとすると共に指名委員会のご努力に感謝申し上げる。

2月是世界理解月間です

国際奉仕委員会活動報告



国際奉仕委員会

委員長 橋本 信夫 (札幌西)

世界社会奉仕委員会

委員長 斎藤 修弥 (室蘭)

国際親睦活動委員会

委員長 雲津 忠宣 (伊達)

当委員会は地区における国際外交の窓口として外国との親善交流を企画・調整するとともにWCSプロジェクトを通じて国際理解と国際貢献に努めている。

現在当委員会では主に以下の事業を企画・推進している。

1. 地区国際奉仕委員会

地区100周年記念委員会によりRI3700地区(韓国大邱市(テグ市))との姉妹提携が図られ、地区大会で調印式が挙行された。今後両地区において国際理解、文化交流、友好親善と国際平和を謳った親善交流が期待されている。これにより今年4月に開催予定のRI3700地区大会に向けた親善訪問プログラムが準備されている。

2. 世界社会奉仕(WCS)委員会

発展途上国の人道的支援に向けて各クラブから様々な案件が寄せられ、それぞれの調査と実際計画が進展している。

滝川RC ノンカイRC(タイ): 中古救急車寄贈: 過去のノンカイ地区支援プログラムの経験を生かし、円滑に供与計画が進められている。

札幌西RC マカテー・ウエストRC(フィリ

ピン): スラム街再開発のための住宅建設事業支援計画が両RCで合意され、プロジェクトが本格的に開始された。

千歳RC・千歳セントラルRC プエルト・プリンセスRC(フィリピン): 前年度、人道的支援のために回収され、千歳RCで保管されていた中古自転車(約400台)の供与先が会員の調査によって絞られ、計画の具体化が図られている。

江別RC タバリRC(ネパール): ネパール・日本友情学校支援のための建設・整備資金援助について調査と企画が行われている。

3. 国際親睦活動委員会

国内外のRI関連親睦ゴルフ大会(国内:JGE、国際:IGFR)への参加プログラムを準備している。

4. スマトラ沖大震災復興支援のため全クラブ・会員を対象に「書き損じはがきと未使用テレカの回収キャンペーン」を実施し、資金調達に努めている。

今年度から当委員会は国際奉仕活動を効果的に推進するために情報ネットによるPRを強化し、広く人道的プログラム支援への会員の理解と参加が得られるよう活動している。

ガバナー補佐会議報告

～グループ別各クラブの活動報告・計画～

2005年1月23日 ホテルサンルート室蘭にて開催

第1グループ



ガバナー補佐
山本 三太郎
(羽幌)

上期ガバナー補佐活動報告書

会長・幹事会の開催について

開催日 開催地 議題質疑等について

6月19日 羽幌町 12名

2004～2005年度、第1グループ
(仮称)ワークショップの開催、日・
時等について

ロータリー100周年を祝う例会開
催要請について

ガバナー公式訪問例会、日・時の確
認及び会長・幹事会の開催について
ガバナー補佐例会訪問予定、日・時
について

8月3日 深川市 5名

遠藤秀雄ガバナー公式訪問例会(深
川RC・妹背牛RC合同例会)

ロータリー100周年記念、第1グ
ループ合同青少年剣道大会の開催に
ついて

8月6日 羽幌町 7名

遠藤秀雄ガバナー公式訪問例会(留
萌RC・小平RC・羽幌RC合同例会)

ロータリー100周年記念、第1グ
ループ合同青少年剣道大会の開催に
ついて

11月14日 留萌市 11名

2005～2006年度、第1グループガ
バナー補佐の推薦について

担当グループ特記事項

クラブ活動について

第1グループ全てのクラブに於て、
活動計画に基づいてロータリー活動は
活発で情熱を以て取り組んでいる。

会員数について

各クラブ共、会員数の減少傾向にあ

るが、夫々のクラブが緊迫感を持ち現
状維持に最大の努力をしている状況で
ある。

基本的には、過疎化による人口減少、
長期的に景気低迷が続き、企業倒産・
撤退等による地域経済の低下による職
業の減少が要因である。

当、第1グループでは5クラブの協
力により、ロータリー100周年を記念
して11月14日留萌市に於て、第1グ
ループ合同のガバナー主催の青少年剣
道大会を開催した、これは第1グルー
プ5クラブの結束と友情の証である。

下期ガバナー補佐活動計画書

クラブ訪問・グループ内行事予定

クラブ訪問

平成17年2月中：グループ内5ク
ラブを訪問予定

平成17年6月中：グループ内5ク
ラブを訪問予定

会長・幹事会

平成17年4月中：留萌市に於て開
催予定

(仮称)ワークショップ開催

平成17年5月22日(日)：羽幌町に
於て開催

以上が下期クラブ訪問及びグループ
内行事予定ですが必要に応じ随時訪問
する。

深川RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

7月6日の本年度第1回例会に於
て、元青年会議所・理事長経験者と北
空知信用金庫の交替メンバーの2名
の入会で上期の会員数は42名で、下
期も2名の会員増強を目標達成に努力し
ている現況です。

R財団・米山奨学会への寄付について
財団寄付：

当初目標額4,200ドル(会員一人

100ドル)に上期終了時点5,200ドル
達成。

米山奨学会：

当初目標額63万円(普通寄付・特
別寄付会員一人15,000円)に上期終
了時点81万3千円と大巾達成。尚、
大西道祥会員はマルチプル・ボール・
ハリス・フェロー、4回目(4,000ドル)
で地区より表彰。

又、地区より米山功労クラブ(11
回目)として感謝状、並びに佐々木実
会員が第2回目の米山功労者、渋谷賢
治会員が第1回目の米山功労者となり
ました。

クラブの特徴・問題点等について

11月30日の例会(クラブフォーラ
ム)に於て。

『深川RCの未来を考える』と云う
テーマでグループ討議を開催した。

討議1：例会の持ち方について。

討議2：会員増強について。

討議3：会費について。

結論、不景気の長期化から会員数の
減少並びに予算規模の縮小が加速傾向
にあるが、ロータリーは組織の拡大と
共に自己研鑽の場であることを忘れず
に、今後も新しい人材育成に努めるべ
きである。クラブ予算についても、大
局的見地から検討し、効率化を計る余
地が残されていると云う結論であった。
奉仕プロジェクトについて

社会奉仕部門

8月5日、石狩川緑地クリーンア
ップ作戦に参加。毎年8月に開催される、
深川・滝川・砂川・旭川と云う『川』
の文字を市名にもつ石狩川流域の四市
が同時に行なう清掃作業に当クラブも
参加した。

9月7日、青少年主張大会報告会の
開催。十数年間にわたり当クラブと深
川市教育委員会主催の市内、中学・高
校生による青少年主張大会上位入賞者
による発表例会を開催した。

9月12日、『遊びと子供の発達』をテーマとして、深川市内の小学生以下を対象とした冒険遊び場「プレーパーク」を深川市の協力のもとに、緑地公園に於て開催。200名に近い子供達が生き生きとプレーパークの楽しさを体験し好評であった。

11月14日、ロータリー100周年記念事業に参加。留萌市で開催の第1グループ、ガバナー補佐主催の青少年剣道大会へ深川剣道連盟の協力を得て23名の豆剣士を募り参加した。

職業奉仕部門

10月12日、職場訪問(アニスティ深川)会員の開設となった、老人ケア・ハウスに移動例会として訪問。未来の老人医療・介護等の現場を視察体験することが出来た。

10月26日、グループトークの開催。ラブフォーラムに於て、職業奉仕への取組や考え方をロータリー歴の浅い会員にも理解をいただく為に夫々の会員の立場から多くの有意義な討論がなされ今後の職業奉仕活動に役立つ例会であった。

『ロータリー財団親善留学生』帰国報告会(8月31日於：プラザホテル板倉)。4年前に深川RCがR財団の留学生として審査・推薦した伊オベラ声楽家、小橋麻美氏が本場イタリア、トリノ市に於て、地元RCのホームスティの協力を得て一年間の留学生生活を終え、例会に於て帰国報告会を行ないました。当日は深川市長をお招きし、R財団委員長の挨拶に続き、本人のイタリアでの声楽の研修成果がビデオ上映により紹介され、ロータリアンとの交流を通じた留学体験談等が紹介された。又、9月には深川RCの後援の元で全国的に著名なピアニスト羽田健太郎氏とのジョイントコンサートが開催され約1,000人の観衆が本場のイタリアオベラの歌声を満喫した。17年1月8日には、札幌きたらホールに於てソロコンサートが開催される。深川RCとしては、R財団の有益性を内外に示す有意義な活動であったと思う。

羽幌RC活動報告書 ガバナー補佐 訪問回数毎回 会員増強について

前年下期に転勤者1名、退職者1名合計2名の退会者があったが、被選理事会・被選会員増強委員会で新年度上期には47名のスタートを目標にロータリアンに相応しい人材発掘に奔走し、新年度第1回例会に2名の入会式を行った。下期についても、大変困難な状況ながら2名の会員増強に努力中である。

R財団・米山奨学会への寄付について
財団寄付：2,750ドル(297,000円)
米山奨学会普通寄付：47,000円
米山奨学会特別寄付：100,000円
クラブの特徴・問題点等について

特徴は、時の流れと共に、クラブ創立会員が年々退会して、クラブが若返りRCの良い意味の厳しさ・威厳が薄れてきているような感じがするが、一方では独創的で活発な意見・発言もこれからのロータリーの活性化には不可欠と思われる、又色々な愛好家を通じ親睦を深めております。

問題点は、当羽幌町は、人口約9千人少々の過疎化の町ながら、RCとライオンズクラブ夫々同数(47名)のクラブがあり、人口の割には特筆とも云える状況なのかも知れませんが、にも関わらず双方夫々に会員増強に奔走しなければなりません。合わせて景気低迷の続く中至難の状況です。会員増強は重点目標ながら会員退会者阻止現状維持に最も努力しなければならないと思われる。

奉仕プロジェクトについて

社会奉仕委員会

羽幌町へ交通安全旗贈呈。

羽幌町交通安全町民大会パレードに参加。

年間4回(1回3日間)実施の日赤献血に全会員班割りて上期2回参加協力。

地域交通安全総決起大会に参加。

羽幌町へ歳末助け合いチャリティー益金を贈呈。

国際奉仕委員会

留萌RC受入の、タイ第3340地区からのGSEメンバー5名を10月21日～22日の2日間ホーム

スティとして受入、例会に於て交流会を開催し親睦を深め羽幌町を表敬訪問、海鳥センター等を案内視察した。

新世代推進活動委員会

ロータリー100周年記念として、羽幌RC杯青少年野球大会を8月14日～15日の2日間管内・外より10チーム250名の選手参加で開催した。

ロータリー100周年記念として、第1グループガバナー補佐主催の第1グループ青少年剣道大会を留萌RC及び留萌剣道連盟の協力のもと、11月14日留萌市に於て、120名の選手の参加により盛會に開催された。

プログラム・情報委員会

プログラム委員会と情報委員会主幹で、ポール・ハリスの生い立ち、ロータリー100周年に因んで、プログラムと3分間情報で提供された。

妹背牛RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

上期に退会者1名あり、新会員の加入推進を計るが、新加入者は1名に留まり、会員増強とはならず、現状維持の会員数であるが、下期には引き続き会員増強に努めたい。

R財団・米山奨学会への寄付について
ロータリー財団寄付金：56,000円
R I 人頭分担金：20,720円
米山奨学会寄付金：20,000円
クラブの特徴・問題点等について

少数会員クラブのことから会員相互の絆が深く、事業活動等の参加には全員意欲的である。しかしながら、一方では少数会員の為に、財政的には非常に厳しい状況である。

奉仕プロジェクトについて

1. 上期から下期にかけての奉仕事業予算協議

年間予算を上期で到達のことから、11月24日開催の理事会に於て下期の奉仕事業年間予算を補正し、計画予算の230%で決定する。

2. 事業実績について

ロータリーの友を全会員が購読する。

7月1日、ペベル温泉に於て新・旧役員引き継ぎ、会員観送迎会の開催。

10月16日、登別温泉に於て会員親睦歓楓会を開催。

12月8日、ペベル温泉に於て家族同伴クリスマス会を開催。

台風23号及び新潟等地震災害義援金の贈呈。

世界身体障害者芸術協会作品に協力。会員慶事に記念品の贈呈。

例会に於てロータリー情報を提供し理解を深める。

小平RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

現会員数は14名であるが、年度中に退会申し出があり年度末には減員の見込みとなっている状況なので、現会員数確保の為最低1名の新会員加入に努めている。

R財団・米山奨学会への寄付について

R財団寄付金：1会員当り80ドル

上期分62,720円寄付

米山奨学会寄付：1会員当り3,000円

上期分21,000円寄付

クラブの特徴・問題点等について

小平町は人口4,300人足らずの小さな町で、農業・漁業を中心とした基幹産業の中で、クラブ会員の増強には限界があり、第一線を退いた現会員の残留に努めながらクラブ維持をしている状況であり、又市町村合併や景気の低迷等により現状維持が精一杯の状況である。

奉仕プロジェクトについて

当クラブは、創立30周年を迎え、10月3日に会員相互の友情を深め、ロータリー精神の更なる研鑽と家族への感謝と理解を深める為に、30周年記念事業を実施した。

記念事業

1. 車椅子の贈呈

小平町特別養護老人ホーム愛生園に車椅子3台贈呈

2. 家族同伴パークゴルフ大会

3. 家族同伴親睦交流会

総事業費 470,000円

留萌RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

会員増強委員会が中心になり新会員2名を入会に推薦し、説得中です。又、退会申告会員に退会しないように説得中であり、会員増強には大変苦労している現状です。

R財団・米山奨学会への寄付について

財団寄付：5,000ドル

米山奨学会寄付：170,000円

(特別寄付)

クラブの特徴・問題点等について

7つの愛好会を通じて親睦を深めてクラブの活性化に役立っている。退会者の申し出が多く、退会しないように説得しておりますが大変苦労致しております。退会の理由は、不景気による会費納入の困難や、その他の理由として仕事が忙しいことや、地方に出る機会が多く例会に出席する時間がなくクラブ奉仕が出来ない等である。

奉仕プロジェクトについて

上期活動計画の100%を消化して、現在に至っております。

社会奉仕委員会

海水浴クリーン作戦と、交通安全活動に参加

留萌あんどん祭りに、ロータリー大あんどんで会員全員参加。

留萌特殊学級、合同学習会への助成と協力。

国際奉仕委員会

韓国、論山RCとの交流で大建高校の男子生徒4名と付き添い2名を受入、留萌高校の協力で授業参観や、クラブ活動に参加、交流と親睦を深めた。

10月17日～23日の7日間、タイ第3340地区からGSEメンバー5名を受入、ホームステイ(羽幌RC1泊)や羽幌RC・小平RCの例会に出席、親睦と交流を深め無事終了する事が出来た。

新世代委員会

「わくわくふるさと塾」暑寒編として登山を計画いたしましたが残念ながら台風の為中止致しました。

ロータリー 100周年記念関係

ロータリー情報委員会では、ポール・ハリスの生い立ちを4ヶ月、3

分間情報として提供致しました。

100周年記念植樹を留萌開発建設部と協力して、高規格道路に100本植樹致しました。

100周年記念として、ガバナー補佐主催第1グループ青少年剣道大会を5クラブ合同で120名の選手の参加により開催した。

第2グループ



ガバナー補佐

鈴木 忠 男

(滝川)

上期ガバナー補佐活動報告

会長・幹事会の開催について

開催日 出席人数 議題・質疑等について

3月13日 7名 ガバナー公式訪問、

補佐クラブ訪問、クラブ協議会など

4月17日 9名 ガバナー公式訪問、

地区親睦野球大会、4クラブ合同例会

5月9日 9名 年度事業計画の検討

9月3日 9名 地区親睦野球大会、

地区大会登録の増進など

10月17日 9名 次期ガバナー補佐推

薦承認、財団寄付強調など

担当グループ特記事項

「クラブ訪問とクラブ協議会」

7月20日(火)赤平RC

7月21日(水)砂川RC

7月15日(木)滝川RC

7月23日(金)芦別RC

「ガバナー公式訪問」

8月5日(木)滝川・砂川RC

(滝川ホテル・スエヒロ)

8月10日(火)赤平・芦別RC

(赤平交流センター未来)

「地区親睦野球大会」(ホストクラブ：滝川RC)

9月3日(金)前夜祭

9月4日(土)地区親睦野球大会・滝

川市営球場・滝の川球場

*地区親睦野球大会については、「ガ

バナー月信10月号」に投稿させて戴

きました。

ガバナー補佐通信

各クラブ会長・幹事さんへ、Eメール

にて、第1号(1月19日)より第11

号(12月17日)まで。

下期ガバナー補佐活動計画書

会長・幹事会の開催について

開催日 出席人数 議題・質疑等について
平成17年2月23日 18名

次期(ガバナー補佐・会長・幹事)との懇親、下期活動計画グループ活動計画予定

2月23日「国際ロータリー創立100周年記念 第2グループ合同例会」砂川パークホテル(ホストクラブ:砂川RC)

- ・会員増強と退会防止に努める。
- ・楽しい例会に努め、出席率を高める。
- ・ポリオ・プラスに協力し、3年間で150ドル達成に努力する。
- ・R財団および米山記念奨学会への協力をお願いする。

「国際ロータリー創立100周年の国際大会」(2005年6月、米国、シカゴ)への参加をすすめる。

各クラブ活動計画予定

*赤平RC

社会奉仕:

(3月)市内幼稚園児と共に、養護老人施設を訪問し、「楽しいひな祭りの会」を開催する。

青少年、ローターアクト:

赤平駅にクリスマス・イルミネーションを設置。

財団、米山への寄付および会員増強に積極的に取り組む。

*芦別RC

社会奉仕:

- 小さな親切運動表彰(6月)
- ロータリーの森の整備(6月)

R財団の年次寄付:

1人100ドルを年度内に達成する。

ポリオ・プラス寄付:

5,000×50名=25万円

(1月中に達成予定)

米山奨学会への寄付:

2,000×50名、年度内に納付する。

会員数(54 50名):

新会員勧誘に努力する。

*砂川RC

1月13日、砂川RC創立35周年記念祝賀会(内輪にて開催)

2月23日、「国際ロータリークラブ100周年記念、第2グループ合同例会」

社会奉仕:

ごみ分別の検証・啓発運動は下期も継続実施中。

ポリオ・プラスは3年間で150ドル達成し、街頭募金した浄財も送金済。12月最終例会で2名退会。会員増強が下期最大の目標です。

*滝川RC

第2グループ合同の「ロータリー100周年を祝う」例会および3回の夜間親睦例会を含む22回の例会を企画。移動例会やミュージシャンなどによる「楽しい」例会、「パラエティに富んだ」例会企画により、「出席率の向上」を目指したい。

赤平RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数3回

会員増強について

会員数 2004年6月30日 34名

7月1日 34名

12月1日現在 34名

今後の予定 現在1名の推薦者あり

上期中に決定予定。

R財団への寄附状況について

上期中は、財団寄附への寄附金額は0円ですが下期には、目標金額クラブで3,000ドル、会員100ドルに向けて努力いたします。

米山奨学会への寄附状況について

下期に集中し各会員に対して協力要請を。

クラブの特徴・問題点について

現在、非常に運営は円滑に行われているように思っています。

縦・横のコミュニケーションがここに来て生かされ、出席率の向上も見られ、下期に期待が持てる。

奉仕プロジェクトについて

従来通り、障がいを持つ方々、老人施設入居者等に対するのプログラムを予定し、今後は、青少年の育成にも目を向けて行きたい。

芦別RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数3回

会員増強について

会員数 2004年6月30日 54名

7月1日 54名

12月1日 53名

12月24日現在 51名の予定です。

(12月24日2名 退会します)

R財団への寄付状況について

1.R財団の年次プログラム基金100\$は寄付する予定です。

2.ポリオ・プラス納金済

米山奨学会への寄付状況について

R財団学友会賛助金納金済

米山梅吉記念館募金納金済

クラブの特徴、問題点について

- 1.高齢化と退会者が増えている
- 2.新会員勧誘に努力しています

奉仕プロジェクト

1.クリスマス家族親睦会の時に歳末助け合いチャリティーオークションを行い、益金を芦別市社会福祉協議会へ贈呈しています。

2.薬物乱用防止キャンペーンに参加しています。

3.国際奉仕委員会 芦別国際交流協会主催の中学生カナダ派遣事業へ支援しています。

4.新世代活動推進委員会 全市親子ドッチボール大会に支援しています。

5.ロータリーの森委員会 ロータリーの森整備に会員も参加するとともに、芦別市への助成金を贈呈しています。

砂川RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数3回

会員増強について

会員数 2004年6月30日 55名

7月1日 54名

12月1日 54名

計画:純増2名

今後の予定:

候補者のリストアップはできていません、今後影響を与える会員と共に粘り強く入会を求めます。

R財団への寄付状況について

広く浅く100ドルから財団寄付を募っております。今期砂川RCの目標とし3850\$です。先月の財団月間で、国際親善奨学金委員会の瀧川委員長様はじめ、お二人のロシアの奨学生のゲスト卓話をいただき、12月現在では4000\$の寄付をいただきました。また、ポール・ハリス・フェローは4人の会員が登録されました。

米山奨学会への寄付状況について

広く浅く10,000円から寄付募っています。今期砂川RCの目標として、600,000円です。10月の米山月間では米山奨学会の竹原委員長様と奨学生のイ・ヨンエ様のゲスト卓話をいただきました。12月現在では400,000円の寄付をいただきました。また、米山功労者には、3名の方が登録となりました。

クラブの特徴・問題点等について

砂川RCでは、会長経験者が全会員の3分の1を締めておりますが、それぞれの委員会活動に対しても、積極的に参加を頂き、和気藹々と活動しております。厳しい経済環境の中、どこのクラブも同じとは思いますが、新入会員の獲得が急務であり、一番の課題と認識しております。

奉仕プロジェクトについて

職業奉仕委員会

10月に職場訪問例会として砂川自動車学校を訪問、とくに高齢者免許更新講習の一端に触れることができました。来春は三谷果樹園での職場訪問例会を企画

社会奉仕委員会

9月 ポリオ撲滅街頭募金 砂川市 買い物駐車場 25名(婦人、ボランティア含む) 募金額85,630円(財団ポリオプラス クラブ寄付)

10月 赤い羽根共同募金街頭募金、循環型リサイクル環境事業分別ごみの検証:不燃ごみ検証(全体の約10%が分別されていなかった)

ノーマライゼーション事業ふれあい体験学習「りんご狩り」市内の知的障害学習教室の児童・先生・父母とりんご狩り、各種ゲームを通じて、ふれあい体験学習をしました。

国際奉仕委員会

7月 国際ふれあい委員会との共催事業「国際交流ふれあいin砂川」開催、松原会員宅に「ホームステイ」の受け入れをしていただいた。

新世代委員会

砂川子どもセンター共催事業、共同体験交流農業体験2回(種植え、収穫)市内学童保育への援助、石狩川川下りへの参加(市内の小中学生との共同体験)

滝川RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数 5回

会員増強について

| | | |
|-----|------------|------|
| 会員数 | 2004年6月30日 | 105名 |
| | 7月1日 | 109名 |
| | 12月1日 | 111名 |

今後の計画:

下半期最低1名以上の増強を目指したい。

今後の予定:

新入会員向けのオリエンテーションとは別個に、情報委員長を座長とし新入会員だけの懇親会を開催することで仲間意識を早期に培って頂くと共に、クラブに対する不安・不満の解消に努めることで早期の退会を防止したい。

R財団への寄付状況について

12月2日現在 \$12,962 ¥1,362,936

米山記念奨学会への寄付状況について

12月2日現在 ¥1,238,000

クラブの特徴・問題点等について

・地方の小都市にも拘わらず111名の会員数を持っており、会員の増強にも努めてはいるがこれ以上の大幅な増強は難しく、併せて経済環境の更なる悪化の状況ではやむを得ないことではあるが、2年前より出席率が70%台前半と低迷し、色々と工夫してはいるがアップさせる事が出来ないのが悩みです。

・出席率向上の新たな試みとしてはプログラム委員会によりこれまで上期と下期の2回しか配布していなかったプログラム表を、次月のプログラム案内として毎月配布しています。

・9月3日・4日の両日地区親睦野球大会の前夜祭及び大会を主管し、ホストクラブとして盛会裏に無事終了させることが出来ました。(ガバナー月信 4/10月号/26P参照)

奉仕プロジェクトについて

・9月12日 社会奉仕委員会担当により、「井原正巳のサッカー教室2004」と題して近隣のサッカー少年団とその指導者を集めての実技講習会を、参加者・スタッフ・参観父母計300名弱の参加を得、盛会裏に開催しました。

井原氏は元全日本の代表選手でもありNHKの現役解説者でもあることから、子供達以上に大勢の母親から

の握手やサイン攻め・スナップ写真攻勢にあい、人気の高さや母親方の行動力(あるいは厚かましさを)を証明するという一幕もありました。

・11月6日 新世代活動推進委員会担当により、「目指せ!未来の発明王」と題し 新エネルギー財団燃料電池部長 小俣富男氏を講師にお招きし、中学生を対象とした燃料電池の仕組みや必要性、及び小グループに分かれての組み立てキットの製作と実験を実施しました。

中学生にはやや難しい製作課題であったことに加え時間的に多少の不足があり、本当に理解できたかどうかは分かりませんが、高額なキットを使った製作実験は学校教育の場ではなし得ないことであり、大変意義の深い事業であったと自負しています。

・「赤ちゃんにキスを」と題し、高校生と乳幼児とのふれあい交流事業を5年前に当クラブの提唱で滝川市、滝川市保健センター・滝川西高校の協力の下実施したが、滝川市エンゼルプランとも相まって、「ふれあい体験学習」と名称を変えながらクラブ抜きで現在も継続されています。

・ロータリー100年ということもあり今年度は特に広報活動にも力点を置き、地元FM局を使って広報活動を行っています。

・クラブ内に於いては親睦を重点テーマとし、例会そのものも単純に過去をなぞるのではなく、委員長自身が興味を持てる内容の例会企画を奨励しており、会員からは例年になく変化に富んだ例会が多いと好評を得ています。

第3グループ



ガバナー補佐
土谷 茂樹
(江別西)

ガバナー補佐活動報告書・計画書

会長・幹事会開催について
開催日 出席人数 議題・質疑等について
10月17日 19人 ガバナー公式訪問に

ついて

もう少し総論的なことでなく、具体的なことにアドバイスをし欲しかったという意見が多かった

2月19日～20日

今回は近くの温泉に一泊して、ロータリーについて語り合いたい

グループ活動計画予定

会長、幹事会は次回

近くの温泉に一泊して大いにロータリーを語り合いたい

クラブ運営について良いアイデアが浮かぶと思う。(19日、20日美唄にて決定)(ピバの湯)

第3グループ親睦麻雀大会

(岩見沢RC担当) 3月12日

第3グループ親睦ボーリング大会

(岩見沢東RC担当)

第3グループ親睦パークゴルフ大会

(美唄RC担当) 5月1日

ロータリー創立100年記念の集い

(各RCの自主性にまかせる) 2月23日

栗山RC、創立35周年記念式典

5月20日

第4グループ



ガバナー補佐
小山 秀昭
(札幌手稲)

上期ガバナー補佐活動報告書

会長・幹事会の開催について

開催日 出席人数 議題・質疑等について

4月12日 16名 公式訪問・クラブ

アッセンブリーについて

8月26日 16名 会員増強・RI100

周年記念行事について

10月13日 29名 第4・5グループ合

同会長・会議、ロータリー100周年記

念事業について

11月25日 14名 次年度地区ガバナー

補佐選出について

担当グループ特記事項

ロータリー100周年記念事業について。2005年2月23日(水)の各クラブの取り組み。

札幌RC.....夜間移動例会18時～

(札幌グランドホテル)

札幌北・モーニング・はまなす・当別

(4クラブ合同)夜間移動例会18時～

ロイヤルセンチュリーホテル

札幌西・西北・手稲・あけぼの

(4クラブ合同)夜間移動例会18時～

後楽園ホテル

下期ガバナー補佐活動計画書

会長・幹事会の開催について

開催日 出席人数 議題・質疑等について

平成17年2月中旬 ロータリー100周

年記念事業について、上半期の報告

平成17年4月下旬 ロータリー100周

年記念事業について

平成17年6月上旬 新旧会長・幹事会

担当グループ特記事項

ロータリー100周年記念事業について

*第4・5グループ合同事業

「ロータリー100年・子供音楽祭」

日 時 2005年5月1日(日)

場 所 「札幌コンサートホール」

「さっぽろ・子どもミュージカル」

「札幌交響楽団」

入場料 「無料」

*各クラブ新世代委員長を中心に実行

委員会を編成

実行委員長 丸山 淳士

(第5グループ補佐)

副実行委員長 小山 秀昭

(第4グループ補佐)

札幌RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数3回

会員増強について

135名の目標に対して:

7月1日現在 123名

新入会員 11名

退会会員 4名(内1名逝去)

12月28日現在 130名

R財団・米山奨学会への寄付について

R財団

年次寄付・恒久寄付

12月末現在 0ドル(1月より

ロータリーレートが102円になるた

め)

ポリオ・プラス寄付

1月に会員一人当たり50ドルを

送金予定。

米山記念奨学会

普通寄付

会員一人=1,500円送金

特別寄付

軽食会差額 225,000円送金

クラブの特徴・問題点等について

72年におよぶ歴史と、会員層の厚

みが強固な運営基盤を維持している。

歴代の会長及び会員が長い歴史のなか

で工夫を凝らしながら育んできた奉仕

活動を継承し、和を第一とした例会運

営を通じて会員の親睦を深めている。

奉仕プロジェクトについて

職業奉仕委員会

伝統の「若い人と語る会」を開催。

会員企業の20代の社員と時事問題な

どを話し合い当世若者事情を把握する

とともに、職業を通じて語り合うこと

による啓蒙活動をおこなっている。

社会奉仕委員会

ロータリー創立60周年を記念して

当クラブが千歳市に『ロータリーの

森』としてトドマツ600本を植樹した。

台風18号でその6割が倒れ、その修

復を100周年記念事業の一つとして計

画・立案中。

小学生を対象とした五色百人一首札

幌大会に協賛し、150名の小学生が参加

し日本の伝統文化に親しんだ。

国際奉仕委員会

札幌市と姉妹都市であるポートラン

ド市の日本庭園関連施設の改修に対し

て、ポートランドRCと協議して「ロ

ータリー広場」をつくることを計画中。

札幌あけぼのRC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

中々計画通りには推移していない。

会員16名。増強4名目標でスタート。

当初2年ぶりで1名入会して17名と

なり幸先の良い始まりであったが、こ

の12月病気で長期欠席であった会員

が平癒しないという退会。現在16名

で振り出しに戻った。何とか増強しな

ければと決意を新たにしている。

R財団・米山奨学会への寄付について

いずれも目標一人100ドルで設定。

財団委員長のアイデアで各自の納入

袋を作成。毎月それぞれ1,000円を積

立、期の終りでは目標を達成する予定。

クラブの特徴・問題点等について

少人数であるが家族的で和気あいあ

いとした雰囲気があり、少数精悦と云

っても過言ではないと自負している。しかし仲間意識が強くて新入会員が入りづらい状態にならないよう気配りすることも肝腎。

・会員減少 現在16名。
・財政危機 財政的にレッドゾーン。当会運営の(損益)分岐点は20名。現状では危機的状況。しかし生きるための会員増強では困りもの。

奉仕プロジェクトについて

財政逼迫、少人数では費用の問題、奉仕委員長の負担過多となり、どうしても活動は萎縮してしまう。これらを考慮すると強かに押し進めることは出来かねる。前年度の事業を踏襲している状況。下期は100周年の会合事業が控えているので新たな奉仕活動は難しいように思われる。今年度は「出会いを大切に」ということで地元地域に目を向け小学校校長や区役所、消防署などの人たちに卓話を要請、その出会いを通じて当クラブのPRと地域社会への奉仕のあり方や必要性を探り次への奉仕活動につなげて行きたい。

・上期実施事業：施設慰問、手稲夏あかり参加、作成

・下期実施事業：植樹

札幌はまなすRC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数 1回

会員増強について

2004年7月1日会員数24名でスタートしました。残念ながら、12月31日付けにて1名の会員の退会届けを受理しておりますので下期からは23名となります。新入会員を迎えるのは大変なことですので、なるべく退会会員を作らないよう皆で強力しています。会員増強委員長はじめ全会員が、候補者に声をかけたり、夜間例会などに招待したり試みています。

R財団・米山奨学会への寄付について
R財団寄付状況...

* R財団のポリオ撲滅寄付に全会員が年間6,000円(500\$)の寄付を個人名でクラブでまとめて送金している。(全会員が年会費の支払いと同時にやっている)

* 年次寄付にも1人6,000円以上を個人名でクラブでまとめて送金を行っている。今期のR財団寄付の2,900

\$を目標に努力してところです。

R財団(12月27日現在)

年次寄付 平成17年1月送金予定
1,300\$ 132,600円

ポリオ・プラス基金 平成17年1月
送金予定 720\$ 73,440円
合計 2,020\$ 206,040円

米山奨学会寄付状況...

* 普通寄付は、会員数×3,000円(年間)で行っている

* 特別寄付の米山功労者の表彰が10万円からとなり、積み立てをする会員が増えてきました。

* 12月までに坂田会長が、米山功労者3回目(30万円)を寄付しました。

米山奨学会(12月27日現在)

普通寄付 平成16年7月 36,000円
特別寄付 平成16年11月 10,000円

特別寄付 平成16年12月 285,000円
合計 331,000円

奉仕プロジェクトについて

奉仕というと毎年行っている、清掃奉仕やボランティアは今期も行って参りました。また、多々ありました災害基金や、記念碑建立基金、心の障害者のオリンピックの協力金等にも出来るだけの寄付も行って参りました。下期には、チャリティーピアノコンサートなどを例会で行い、その時の浄財を国際奉仕プロジェクト・国内寄付などにあてられるように考えている。今年は、ロータリーの100年を祝おう-という年のため、全RCで協力する、子どもミュージカルにも会員は積極的に参加する予定であります。その他に、当クラブの親クラブである札幌北RCと札幌モーニングRCと当別RCの4クラブでの合同例会を行う予定です。現在数回の会議を重ね、記念すべき100周年になるよう計画中であります。

札幌北RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数 2回

会員増強について

9月-新入会員 東野雅司氏入会

9月-廿日岩重春会員 退会

上期会員数 49名

* 現在、新入会員1名審査中

R財団・米山奨学会への寄付について
R財団

8月4日 深浦 信吾

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 1

小林 俊之

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 1

8月26日 樋口 正明

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 1

片岡 是充

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 1

9月14日 相沢 芙束

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 2

11月5日 高橋 麗秋 恒久基金

ベネファクター

11月25日 チャリティ 会員17名、

クラブ総額 ¥107,250-

米山奨学会

8月4日 福田十太郎 米山功労者5

9月28日 長太 義雄 米山功労者1

" 樋口 正明 米山功労者4

10月5日 竹原 巖 米山功労者5

10月26日 若狭 吉範 米山功労者2

11月25日 チャリティ 会員16名、

クラブ総額 ¥107,250-

12月22日 大田すみ子 米山功労者1

" 大西 忠男 米山功労者1

" 木村 芳江 米山功労者1

" 谷口 良一 米山功労者2

クラブの特徴・問題点について

・「札幌北RC改善研究会」について
当クラブは現在会員減少傾向にあり、現在49名となっている。このような状況に鑑み、札幌北RCの将来に向けてのあり方を検討し改善策を提案しようというのが本委員会の目的です。理事会の諮問機関として設置されました。

~分科会~

* 委員会統合(委員会の統合など・委員会構成の見直し)

* 会計(会計・会費などの見直し)

* ローターアクト(存在意義、活動状況、支援についてなど)

* 定款・細則関連(改善に伴う細則との関わり)

2005年より実施を目指す。

奉仕プロジェクトについて

社会奉仕委員会の活動方針

本年度は、ロータリー創設100周年記念を迎える記念すべき年度に当たり、RIのテーマである「ロータリーを祝おう」にちなんで、具体的計画の第1項として記念日の2005年2月23日に、ロータリー100周年記念4ク

ラブ合同例会実行委員会（札幌北、札幌モーニング、札幌はまなす、当別）を作り、毎月打合会をこれまで3回開き大勢をかためております。

～プログラム～

*第1部 例会

*第2部 記念講演

*第3部 記念懇親会

出席者 会員、家族、元会員遺族、元会員（退会会員）、ローターアクト、交換留学生、米山奨学生など。

その他

ロータリー100周年を記念して4クラブ合同の事業企画を計画中。

各種救済募金に協力実績

*新潟・福井災害義援金の募集

*スペシャルオリンピックスの協賛

*「虹と雪のパラード」の詩碑建立支援

*麻薬・覚醒剤乱用防止の支援募金

*台風23号新潟県中越地震義援金募集

*歳末たすけあい運動

札幌モーニングRC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

(含ガバナー訪問)

会員増強について

今年度の会員増強目標人数は3名、期末純増3名を目標としております。上期入会者は4名（前年度選考2名）、退会防止に力を入れたいと思います。

R財団・米山奨学会への寄付について

今期はR財団・米山BOXに「会員1人、1ヶ月1,000円の募金」とを呼掛け、11月10日例会「R財団月間に因んで」でさらにご理解とご協力を呼掛けました。12月15日「年末親睦家族会」に於いてR財団オークションを催しました。上半期R財団BOXには331,665円が貯蓄されており、ほぼ半期の目標が達成されました。

クラブの特徴・問題点などについて

地域内唯一早朝例会をもつクラブです。出席率が悪い事が危惧されます。

奉仕プロジェクトについて

社会奉仕・環境保全各委員会を主に、クラブ全体で協力し今年度も「カミネッコン植樹」を行ないます。日程は5月～7月ですが、まだ確定していません。お手伝いをいただきます「森づくりサークル」との第1回目の打ち合わ

せが11月29日に終了しております。

また、札幌市へ「カミネッコン」820セットを寄贈しました。

札幌西RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

順調に入会活動を行い、上期の目標である4名増を達成した。

R財団・米山奨学会への寄付について

R財団、米山奨学会共に粗餐会寄付、募金等実施していますが、ポール・ハリス・フェロー、米山功労者については未だ実績がありませんので下期に報告できるものと思います。

クラブの特徴・問題点などについて

古い会員と新しい会員が非常にうまく混ざり合い、例会のムードはとても和やかである。ゴルフ会を始め親睦活動や、各種の奉仕活動も活発で、現在、クラブの状況は非常に恵まれている。問題と呼ぶべき事象は見当たらない。

奉仕プロジェクトについて

職業奉仕：職場見学1回開催

社会奉仕：札幌育児園園児招待

(継続事業)

東札幌病院音楽会開催

(継続事業)

国際奉仕：交換派遣学生の決定

(受入れも同時に決定)

地区WCSとのフィリピン、マカティウエストRC

との合同事業

(100周年記念)

札幌西北RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

新入会員2名

R財団・米山奨学会への寄付について

R財団 目標額5,400ドル

12月現在3,200ドル寄付

米山奨学会 目標額50万円

12月現在40万円寄付

クラブの特徴・問題点等について

会員増強がなかなか難しく会員増強のフォーラムを行うなどで各会員に増強協力をお願いしている。

奉仕プロジェクトについて

9月25日(土)「三角山の四阿でロータリーを祝おう」プロジェクト

新世代委員会・社会奉仕委員会・親睦活動委員会の協同事業

参加者：

札幌西北RC会員と家族、札幌山の手高校インターアクトクラブ会員と教師、札幌西北RC元会員で四阿に関係した人々

目的：

登山口から頂上までの清掃、四阿の点検・清掃、登山者記録帳設置、登山者記録帳収納引出し設置、懇親会

10月27日(水)「ロータリー創立100周年記念植栽事業」

社会奉仕委員会の事業

参加者：

札幌西北RC会員と手稲鉄北小学校生徒・教師

植栽地区：手稲鉄北小学校敷地内

目的：

ロータリー創立100周年にあたり、当クラブの記念事業として地域社会に貢献してゆく活動の一環として小学校の敷地内に樹木の苗木を学校の子供達とロータリー会員が共同で植栽事業を行った。手稲鉄北小学校は今年開校40周年にあたり、その記念行事の一翼を担った。

10月28日(木)桑園自動車学校職場訪問移動例会

職業奉仕委員会の事業

森田信義社長の卓話ならびに自動車学校内の施設の見学

札幌手稲RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数3回

会員増強について

今期7名の目標を掲げており、現在のところ2名。後期に向けて残り5名の増強を達成すべく努力しているところである。

R財団・米山奨学会への寄付について R財団については

個人寄付 3,100ドル

ポリオ・プラス 2,000ドル

米山奨学会への寄付は クラブ寄付

2,000円×42名=78,000円

個人特別寄付は 80,000円

クラブの特徴・問題点などについて

会員が最多時の約半数という状況だが、出席率は100%に近い状況が続いている。総会、クリスマス例会、イン

フォーマルミーティング等の会にもこれまででない出席率を示している。

その意味では会員同士の親睦がより強まり、またクラブへの結集の度合いも強まっていると思われる。こうした会員の力を総合し、何としても実現したい。

奉仕プロジェクトについて

今年で23年目を迎える西区・手稲区中学生スポーツ大会を準備している。本大会は我がクラブと西北・あけぼので共催しており、両区合わせて19校が参加する。

中学スポーツ大会の冬期一大イベントとして地域に定着している。

当クラブ創立35周年記念として環境保全事業と新世代向けのフォーラムを企画している。

国際奉仕委員会の関係では会員数が半減する中でも、交換留学生2名の受け入れを実施している。

第5グループ



ガバナー補佐
丸山 淳士
(札幌真駒内)

上期ガバナー補佐活動報告書

会長・幹事会開催について
開催日 出席人数 議題・質疑等について
9月27日 14名 各クラブの100周年記念行事・活動計画

第4グループとの合同記念行事
次期ガバナー補佐選出について
その他、GSEタイからの訪問団についてRI規定審議会項目のうち、e-クラブ、及び人頭分担金に対する質疑があった。

10月13日 29名 第4グループとの合同会長・幹事会

合同100周年記念行事について
5月1日、札幌コンサートホール「キタラ」にて、子供音楽祭を開催する。

11月5日 14名 今年度各クラブ活動計画について100周年記念行事の確認
100周年記念行事についての第4、第5グループ合同実行委員会を組織した。

これに伴い、実行委員会を3回開催

した。現在進行中。

下期ガバナー補佐活動計画書

会長・幹事会開催について
平成17年1月26日 16名
活動計画進行状況の把握
グループ活動計画予定

第5グループとしての活動計画はない。

第4グループと合同での100周年記念行事は具体的に進行中である。
各クラブ活動計画予定

*札幌南RC

今年度のテーマでもある家族との絆を考慮し、2月23日に100周年記念行事に因み例会を家族会として開催する。

*札幌東RC

5月、キタラ小ホールにてチャリティコンサートを開催する。

*札幌南RC

今年度40周年に当たるので、100周年記念行事と併せ、1月22日に祝賀会を開催する。11月に養護施設5団体に援助を考えフォーラムを開催した。

*新札幌RC

昨年度20周年で、今年度は21年目の人間で言えば成人に達した時期であり、会員増強、財政の安定を求めて計画を立てたい。100周年記念行事としては、例会のプログラム上で考えていく。

*札幌清田RC

ふれあい委員会でチャリティコンペを開催し、収益で児童施設の支援を考えている。2月23日には合同例会などを検討している。

*札幌大通公園RC

例会を100周年記念したものにした。

*札幌セントラルRC

100周年に当たり、新しいクラブなので、これを機にロータリーについての理解を求め、会員増強に力を入れたい。

*札幌真駒内RC

2月23日が丁度クラブの例会日に当たっているため、この日に記念行事を催す予定である。

第6グループ



ガバナー補佐
関 幸吉
(倶知安)

上期ガバナー補佐活動報告書

会長・幹事会開催について
開催日 出席人数 議題・質疑等について
4月17日 15名 新年度の基本方針と活動計画について

ガバナー公式訪問の実施について(室蘭市)

5月28日 22名 ガバナー公式訪問についての打合わせ

各クラブの今後の活動計画について
クラブ協議会の訪問について(倶知安町)

8月2日 7名 小樽地区クラブとの懇談会(小樽市)

9月24日 17名 次年度ガバナー補佐選出について

GSE、交換留学生の補助金について
ロータリー創立記念日の行事について(倶知安町)

担当グループ特記事項

今年度第6グループは、会員増強を重点目標と致しました。

会員増強および拡大月間(8月)には、各クラブにアンケート調査を実施し、会員増強を強力に要請致しました。下期も更に会員増強の活動を続けて参ります。

本年度は第6グループ内にて、タイ王国第3350地区より、GSEメンバー5名を受け入れました。倶知安RCがホストクラブとなり、お世話を致しました。岩内RCさまにもお世話に成りました。

下期ガバナー補佐活動計画書

会長・幹事会の開催について
開催日 出席人数 議題・質疑等について
平成17年3月
平成17年6月

グループ活動計画予定

1月23日(日) 第2回ガバナー補佐会議(室蘭市)

2月5日(土) 小樽南RC創立45

周年記念式典の開催

2月23日(水) 小樽地区3クラブ
合同ロータリー100周年記念事業、
100周年記念3クラブ合同例会の開催
(小樽市)

2月23日(水) 後志地区4クラブ
合同ロータリー100周年記念事業、
100周年記念4クラブ合同例会の開催
(岩内町)

6月4日(土) 倶知安RC創立40
周年記念式典の開催

第6グループ会長・幹事会の開催
(3月、6月)
グループ内各クラブ訪問
(3月、5月)

各クラブ活動計画予定

*小樽RC

小樽3クラブ合同、ロータリー創立
100周年記念事業と、記念合同例
会の実施について主管として推進

*小樽南RC

クラブ創立45周年記念講演会の
実施と、記念式典の開催
ブックスタート事業の布袋1,000枚
の寄贈、小樽3クラブ合同創立100
周年記念事業の協賛

*小樽銭函RC

小樽西部地区少年野球大会の開催
と支援、小樽3クラブ合同ロータ
リー創立100周年記念行事への協賛

*余市RC

後志4クラブ合同ロータリー創立
100周年記念事業、合同例会への協賛

*岩内RC

会員増強拡大プログラムの実施
後志4クラブ合同ロータリー創立
100周年記念講演会と記念例会の開催
主管

*倶知安RC

町のイベントである雪トピア、
じゃが祭り等への積極的な参加と協
力、特別養護老人ホームへの慰問、
庭園の整備、建物の清掃奉仕活動、
町営どんぐり広場公園の、清掃整備
の奉仕活動、交通安全運動他、各種
啓蒙運動への参加協力、後志4ク
ラブ合同ロータリー創立100周年記
念事業、記念例会への参加協力、ク
ラブ創立40周年記念事業の推進と、
記念式典の開催

*蘭越RC

後志4クラブ合同ロータリー創立
100周年記念事業、記念例会への参
加協力

岩内RC活動報告書

ガバナー補佐、訪問回数3回

会員増強について

今年度の当クラブ委員長が積極的に
取り組んでいる問題でもあります。先
頃、会員増強拡大委員会を設け、10
人のスタッフから成り、アンケートを
全会員に配布し、奮闘しております。
会議は3回開催され、3~5名の新会
員も目指して居ります。

R財団・米山奨学会への寄付について
上期において前ガバナー補佐の梅庭
会員が協力していただきました。

クラブの特徴・問題点等について

今年度は、会員増強をはじめとして
全会員一丸と成り、新入会員に力を入
れ、底辺の普及に努め近來になく、意
識の高揚が見られます。自分達の出来
る事からと云う事で、会報の手作りにも
今取り組んでおります。又、日本ロータ
リー事務局より、ロータリーのPR紙
を送付していただき広く皆さんに知っ
てもらおう努力にも力を入れています。

倶知安RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数例会開催日回
会員増強について

会員を下期に3名程入会させるべ
く、目下入会をすすめてるところです。
入会させることも大事ですが、会員の
退会も経済不況下にあつて防止に努め
なければならないと思っています。

R財団・米山奨学会への寄付について
R財団への寄付については、目標
を上期と下期で達成するように致しま
す。米山奨学会への寄付については、
上期は会員一人2,000円を納金しまし
た。下期で会員個人より寄付を募りた
いと思います。

クラブの特徴・問題点等について

会員は50名以上いるのですが、3
年後からの会長、幹事候補者に今から
心配な点があります。例会は和気藹々
の楽しい時間なのですが、会員同志の
席が固定してしまい、同じ席の人が、
同年齢になりがちです。もっと世代を

越えた交流があればと思います。主要
委員会以外は不活発になっています。
会長の指導力にも限界があり、どのよ
うにすれば、年配者も活発な行動をし
て頂けるか苦慮しています。下期に
40周年を予定していますが、実行委
員会が何々進んでいません。

奉仕プロジェクトについて

社会奉仕委員会

・交通安全運動街頭啓発運営に協力し
ました。

・赤い羽募金の街頭募金に協力しました。
国際奉仕委員会

・タイよりのGSEチーム5人を受
け入れ、多様なプログラムを組み
チームが、有意義な研修になり、会
員との交流も出来ました。

・JAZZフェスティバルへの参加協力

・アースフェスタ行事への参加協力を
しました。

新世代委員会

・新世代の事業にお手伝い下さった生
徒を招待して(年忘れ家族会に)感
謝の意を表しました。

その他

・近年ニセコにオーストラリア人が来
て事業を展開していますが将来につ
いて考える講演会への協賛と参加。

小樽RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数3回
会員増強について

前期末に多くの年輩者(会長経験者
含む)が退会した為、74名(正会員)
と厳しいスタートになりました。現在
交代会員の入会などがあり、77名で
す。しかし、12月に1名退会が決定
し、明年1月は76名になります。増
強にはなかなか厳しい年になっており
ます。

R財団・米山奨学会への寄付について
R財団

現在4人の方の協力と2期にわたり
マルチブルの1名で合計490,000円を
実施した処です。今後軽食デー等で目
標を達成したいと思っております。

米山奨学会

普通寄付金として会員1名当たり
年間3,000円の予算を組んでいると
ころ、軽食デーの例会を1回設け、財源
を確保した。特別寄付金については、

現在のところ10万円を募った。

クラブの特徴・問題点等について

当クラブは昨年創立70年と古いクラブです。その為、それなりの伝統が引き継がれておりますが、若い会員が多くなってきて、薄れていく傾向にあります。その兼ね合いが難しい所です。奉仕プロジェクトについて

職業奉仕委員会

10月第1例会にメディカルグループによる血圧測定を例会前に行った。10月第4例会には職場例会を行った。事業および専門職務の道德水準を高めること、および小樽RCの伝統に沿って活動して行きたい。

社会奉仕委員会

8月24日の例会で㈱文化総研稲村嘉三氏に「まちの再生」と題して講演をしていただいた。

地区子ども委員会については、7名の講義協力者が2510地区に登録が整い次第、教育委員会と小中学校への広報活動を行う。

国際奉仕委員会

8月17日の例会で、ポロヴィタ札幌フレンドシップスクール松村操氏をゲストスピーカーとしてお迎えした際、パングラディッシュポロヴィタ村の子供達に文房具を贈呈募金を行い、委員会事業費と合わせて寄付した。

10月26日の例会ではタイ3350地区G S Eメンバー5名の表敬訪問を受けた。

11月30日の例会で小樽市役所 貞原正夫氏に「小樽市の国際交流の現状」と題して講演をいただいた。

小樽3クラブ合同ロータリー100周年記念事業委員会は小樽RC、クラブ奉仕委員長(副会長)西條文雪会員を委員長として進行中である。

小樽南RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数3回

会員増強について

上期は入会が1名で、退会会員4名となりました。下期については、4名の入会を予定しています。計画では通年2人増を目標にしています。

R財団・米山奨学会への寄付について
・米山奨学への普通寄付は、これまで会員1名当たり2,000円/年でした

が、今年は3,000円/年に増額しました。

・上期のR財団ではクラブとして1,000ドルを寄付しました。下期に向け個人寄付をつりポール・ハリス・フェロー3名を年度内目標としています。

クラブの特徴・問題点等について

上期は早朝例会4回、夜間例会4回と会員相互の親睦活動が大いに盛んで、例会は和気あいあいと楽しい雰囲気が進められている。このエネルギーを下期の創立45周年記念事業(奉仕プロジェクトに記載)や市内高校優秀卒業生の表彰など地域社会支援活動へとつなげてゆくことを計画しています。奉仕プロジェクトについて
プロジェクトの内容、実施時期、場所および主旨

当クラブ創立45周年を記念してブックスタート事業の啓蒙をはかる為、市民対象の講演会を開催します。

日時 平成17年2月5日(土)

場所 量徳寺会館ホール

演題 子どもの本の必要性 - なぜ

今ブックスタートなのか -

講師 松居 直氏

会費 入場無料

・ブックスタート事業として絵本や哺乳ビン、雑貨等を入れて持ち歩く布袋を今年も1,000枚寄贈します。

地域社会への役割

毎年約1,000人の親子が読書の喜びを知り、親子のふれあいや会話が増え、子供の心の成長に寄与。家族や社会にやすらぎと平和をもたらします。又、保育等に関わる人達のレベルアップがはかれます。

小樽銭函RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数3回

会員増強について

現在12月20日未まで新会員2名新宮商工の工場長のひきつぎがわるく新工場長の未加入で1月1日で、1名の新会員で25名で人数的には±0であります。新宮の工場長の会員になってもらうべき1月から活動

R財団・米山奨学会への寄付について
昨年と同様で変わらず

クラブの特徴・問題点等について

現在の所、たいした問題はありませぬ。奉仕プロジェクトについて

ロータリー100周年記念プロジェクトは、現在2月23日に向けて進行中。青少年委員会の少年野球は次第終了。ホテルに関しては2005年10月まで河川工事の為、来年度プロジェクトをたてるつもりです。

蘭越RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数3回

会員増強について

なかなか難しい。声はかけていますが、頑張ります。

R財団・米山奨学会への寄付について
例年と同じく寄付しました。

クラブの特徴・問題点等について

・少人数の為出来る活動を行っている。
・会長・幹事を何回もする為、あきてきています。

余市RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数3回

会員増強について

今年度2名入会しましたが、退会者が2名ありました。下期で1名の入会者の発掘をしております。

R財団・米山奨学会への寄付について
今年度は1月より委員会活動が始まりますので、まだ進んでいません。

奉仕プロジェクトについて

・上期では、新世代委員会活動として短期交換留学生の受入、派遣事業を致しました。また、地区事業のライラに高校生6名、先生1名とシニア部門に1名参加を致しました。

・社会奉仕では、学童水泳大会を主催致しました。また、身障者の「はまなす学園」の園生を例会に招待して会員との交流事業を致しました。下期では、高齢者福祉事業を展開したいと思っております。

第7グループ～第12グループは、3月号に掲載致します。

地区委員会 活動報告

ロータリー市民講座開催報告



職業奉仕委員会
委員長 富岡 公治(札幌西北)

地区職業奉仕委員会主催の第4回ロータリー市民講座を次の要領にて開催致しました。

1. 日時 平成16年11月30日(火)
午後1時30分～3時30分
2. 場所 札幌市中央区南1条西22丁目1番1号
北方圏学術情報センター
(電話618-7711)
3. 講師 弁護士 芝垣 美男(室蘭東RC会長)
4. 演題 「面白く役立つ市民に身近な法律知識」
離婚、親子関係、相続等の法律問題
5. 講師の紹介

北海道新聞の法律相談の回答者であり、面白くかつ判りやすく、テレビ各団体等の各種講演会において講演する講師として著名な芝垣美男弁護士が約2時間熱心に講話をされ、聴衆のロータリアン及び市民の人達は絶妙な芝垣美男講師の話に熱心に耳を傾けており、大変有意義なロータリー市民講座となりました。



クラブ活動 紹介

スリランカへの 中古自転車贈呈完了!!

千歳RC会長 服部 隆志
千歳セントラルRC会長 汲田 信夫

佐藤ガバナー年度、スリランカに中古自転車を贈ろうと地区内72クラブの支援を受けて2003年11月、12月に贈った自転車は、スリランカ側の関税等の都合によりのびのびとなっていたが、今般、漸く政府との話し合いが付き地域の小中学生に配分の運びとなり完了しました。

地区内クラブの皆様には深甚なる謝意を表します。スリランカ キャンディRC皆様方の贈呈式の写真を添えてご報告とします。



第2510地区（北海道南西部）ロータリー財団国際親善奨学金委員会

2006-07年度 ロータリー財団国際親善奨学生募集要項

[種類]

奨学金の種類と募集人数は以下の通り（状況により、各奨学金の人数枠を変更することがある）。

各奨学金の支給額上限は次の通り。

- 1 .3 ヶ月文化研修奨学金（3 ヶ月の語学・文化研修費用の援助）
\$ 12,000 若干名
- 2 .6 ヶ月文化研修奨学金（6 ヶ月の語学・文化研修費用の援助）
\$ 19,000 若干名
- 3 .1 学年度奨学金（1 学年度間の留学費用の援助）
\$ 26,000 若干名
- 4 . マルチイヤー奨学金（学位取得を目的とした留学費用の援助 - 2 年間）
\$ 26,000 若干名

[応募資格]

- 1 . 本奨学金の趣旨（申請書類参照）に賛同する人
- 2 . 日本国籍（特別永住者を含む）を持ち、2006年7月に20歳以上であること
- 3 . 応募時に、第2510地区（北海道南西部）内に、本籍が現住所、あるいは勤務先、通学先があること
- 4 . ロータリークラブ会員（退会後3年以内を含む）、その家族（2親等以内）、クラブ被雇用者でないこと
- 5 . 文化研修奨学金の場合、2006年7月までに大学2年の課程（短大を含む）を修了しているか、または高卒後2年以上の職業経験を持っていること。また研修予定言語について、大学初年次程度の勉学を修了していること
- 6 . 応募時に日本国内に居住していること
- 7 . 1 学年およびマルチイヤー奨学金応募者で、英語圏希望者は TOEFL・PBT 換算で550点以上（600点以上が望ましい）を取得していること。他の言語の場合は、それぞれの検定試験の上位級（TOEFLで550点以上に該当する級）に合格していること。具体的には「応募のしおり」をご覧ください。

[応募期間]

2005年2月14日 - 4月15日（各ロータリークラブへの申請書提出期間）

[申請の手続]

2005年1月24日 - 3月31日の期間内に、下記ガバナー事務所に、自分の宛名を書き、270円切手を貼ったA4版の封筒を同封して、申請書ならびに「応募のしおり」を請求すること。

・ 申請書請求先：国際ロータリー第2510地区ガバナー事務所
〒059-0034 北海道登別市鷺別町2丁目31-1
医療法人社団友愛会 恵愛病院内
TEL : (0143) 82-2510
FAX : (0143) 82-2512
Email : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp

・ 申請書の提出先は地区内のいずれかのロータリークラブになります。申請はどれか一つの奨学金についてのみ応募可能です。なお、提出された申請書類は合否にかかわらず返却しません。

・ 「応募のしおり」にあるロータリークラブ一覧表の中から最寄りのクラブを探して申請してください。最寄りのクラブがわからない場合は、ガバナー事務所に相談してください。

・ 提出先のクラブで、応募者の面接をおこないます。面接で推薦が決まった場合は、クラブから申請者を地区の選考委員会（当地区国際親善奨学金委員会主催）に推薦し、申請書を転送します。

[選考：書類審査および面接審査]

・ 地区選考委員会で書類審査を行い、合格者（合否結果は5月中旬に通知）にのみ面接審査を行います。

・ 面接審査日は2005年6月4日（土）です。場所（札幌市内）と時間は、書類審査合格者に通知します。

[最終合格者発表とその後の手続]

・ 面接審査結果は6月中旬に通知します。その後、合格者は奨学生候補者として米国ロータリー財団に推薦され、米国ロータリー財団本部による審査の後、正式に奨学生として決定されます。（2006年1月頃）

[留学時期]

2006年7月 - 2007年6月のロータリー年度内に出発します。

[奨学金受給の条件]

本奨学金の受給は、ロータリークラブが派遣する国際親善使節としての責務を全うすることを条件としており、オリエンテーションをはじめとして、留学前、留学中、留学後のロータリー活動への参加が求められます。

[問い合わせ先]

ガバナー事務所（申請書請求先）に、できるだけメールでお願いします。

グレン・エステスR I 会長主催祝賀会議へのご案内

実行委員長 R I 理事 田 中 作 次
副実行委員長 R I 理事 南 園 義 一

すでにご案内申し上げております今回の祝賀会議は、ロータリーの100周年を記念して、2004 - 05年度に世界8か国で開催されるR I 会長主催会議の一つです。グレン・エステスR I 会長と共に100周年を祝い、ロータリーの夢を語り合い、その夢の具現化に向けて討論し、ロータリーの2世紀の進むべき道を見いだしていただくことを目的としています。参加資格はすべてのロータリアンと配偶者の皆様で、新会員を含む多くのロータリアンのご参加を歓迎いたします。

1月8日現在、全国の各地区から頂いたご登録数は4月29日夜に開催されるR I 会長ご夫妻歓迎晩餐会が554名様でした。翌30日の祝賀会議は1,500名の予定に対し921名(1地区の約束数含む)でした。つきましては誠に恐縮ではございますが4月30日のR I 会長主催祝賀会議に是非共、あと580名の追加ご登録を賜りR I 会長ご夫妻を皆様とともに温かくお迎えしたいと存じます。

祝賀会議実行委員会では、グレン・エステスR I 会長の基調講演のほか、職業倫理、ロータリーのイメージアップ、ロータリー情報の徹底、会員退会防止と増強、魅力あるクラブづくりの5つのテーマによる分科討論会を予定しております。またそれぞれの5つのテーマに対するご意見を各地区5名のシニア・リーダーにお願いし寄稿文を当日、分科会別に配布させていただきます。

本 会 議

と き 2005年4月30日(土) 10:00~17:00
と こ ろ 新高輪プリンス・ホテル
登 録 料 10,000円(昼食、休憩時のコーヒー代含む)
アトラクション 午後のひと時をマリンバ・ポニーズで(14:30~15:05)

3歳から12歳までの子どもたちが各種楽器で交互に演奏する、その明るく、はじけるような楽しい音楽は、日本はもとより、世界中で愛されています。ニューヨークのカーネギーホール、ウイーン楽友協会大ホールなど世界の名ホールでコンサートを開催し、成功を収めています。国内では「NHK金曜オンステージ」、「題名のない音楽会」、「たけしの誰でもピカソ」、などにも出演しています。「八木節」、「星条旗よ永遠なれ」、「ラ・クンパルシータ」など広いレパートリーが特徴です。

また2月14日の建国記念日式典にはNHK大ホールで、4月29日には九段会館での昭和天皇聖徳式典で記念演奏をします。

R I 会長ご夫妻歓迎晩餐会

と き 2005年4月29日(金) 18:00~20:30
と こ ろ 新高輪プリンス・ホテル
会 費 18,000円(お一人様)参加者 ロータリアンおよびご家族の皆様

最終締切日を2005年2月25日とさせていただきます。お申し込みは従来通りクラブを通じて貴地区ガバナー事務所にてお願い申し上げます。ご不明な点はガバナー事務所まで宜しくお問い合わせいたします。

親睦活動委員会ニュース

J G F R 国内大会

第16回 J G F R 沖縄大会
日 時：平成17年3月14日(月)
コース：琉球ゴルフ倶楽部
第3回 J G F R お花見東京大会
日 時：平成17年4月4日(月)
コース：小金井カントリー倶楽部
第15回 J G F R 北海道大会(予定)
日 時：平成17年6月27日(月)
コース：ブルックス
カントリークラブ

I G F R 世界大会

42th大会(ゴールドコースト)
日 時：6月13日~17日
43th大会(トルコ) 2006年
44th大会(マニラ) 2007年
45th大会(ジャマイカ) 2008年

親睦委員会委員長
雲津 忠宣
携帯 090 - 2696 - 1407

R I 100年記念国際大会

オン・ツー・シカゴ委員会

シカゴ国際大会参加状況

2510地区として用意しましたスケジュールで参加された方は現在42名となりました。

これから申込みされる方はJTB三越前支店(担当宮崎氏、柴田氏宛)にお問い合わせ下さい。詳細は月信No.5、6(2004年11月、12月号)に掲載されていますのでご覧ください。

(財)ロータリー米山記念奨学会 2005年1月14日発行

ハイライトよねやま 59

1. 寄付金速報～2005年もよろしくお願ひいたします

12月までの寄付金は、前年同期と比べ4.7%減、約4千百万円の減少でした。普通寄付金が2.6%減、特別寄付金が5.4%減です。明らかに、いまだ厳しい状況が続いています。12月27日付で「2004年度下期普通寄付金のお願い」を各ロータリークラブ宛にお送りいたしました。普通寄付金は当会活動の安定的な財源となっています。奨学事業を運営していく上での重要な寄付となりますので、お早めにご納入いただきますよう本年もよろしくお願ひ申し上げます。

2. スマトラ沖地震およびインド洋津波被災国出身の米山奨学生は今 ...

12月26日に発生したスマトラ沖地震と津波の被災者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

津波の主な被災国(インドネシア、スリランカ、インド、タイ、マレーシア)出身の現役米山奨学生は82人に上ります。これらの奨学生に家族の安否を確認したところ、「祖母が行方不明になっている」「おじが怪我をした」「故郷の友人・知人が多数死亡、行方不明」という報告がありましたが、幸いにも、ほかに家族に被害があったという人は今のところ出ていません。中には、「来月の奨学金から少しでも義援金を出したい」「同国人の留学生会で、募金活動や被災孤児の支援活動を推進している」などの報告もありました。

学友については、地区や世話クラブのご協力も仰ぎたいと思います。各地区・クラブで学友の被災者に関する情報が入りましたら、米山奨学会事務局にもお知らせいただければ幸いです。

3. 第3回米山奨学事業フォーラム開催報告～地区の声を2006年度制度改編に!

12月11日(土)東京・新高輪プリンスホテルにて、第3回米山奨学事業フォーラムが開催されました。全国34地区からガバナー・エレクトをはじめとする各地区3人の代表者にお集まりいただき、地区の声をもとに、今後の米山奨学事業の方向性や制度について、熱心な議論が展開されました。後半の全体討議では、次々に発言を求め手が挙がり、「時間が足りない」とのコメントが聞かれるほどでした。報告書は、2月上旬に参加者、各地区の米山役員・委員および希望者の皆さまにお送りいたします。また、ダイジェスト版を「ロータリーの友」2月号・3月号のよねやまだより誌上で報告いたしますので、ぜひご一読ください。



フォーラムでの活発な質疑応答

4. 2005学年度新規採用奨学生の面接試験始まる!

米山奨学金応募者1,221人に対する面接試験が、1月15日から、全国34地区で実施されます。昨年の地区へのアンケート結果によると、1人あたりの面接時間は平均「10～14分」と、ここ数年延びる傾向にあります。選考基準として特に重視されるのは、「日本語が話せ、コミュニケーションをはかる意欲が高いこと」「異なる文化に対する認識を深め、理解しようとする姿勢があること」ですが、「学業成績が優秀な学生」を選んだ7地区は、すべてこれを最優先としています。面接で積極的に意志疎通をはかり、異文化理解をアピールできること、そして学業優秀であることが選考の2大ポイントといえるでしょう。最終合否は、「採点順位」「国籍割合」を重視しつつ、各地区とも合議によって決定しています。

今年も厳しい選考を経て、481人の新規米山奨学生が誕生する予定です。

5. 台湾学友会総会出席報告～台湾学友会から新潟県中越地震に義援金

社団法人の認可を得て8年目となる中華民國扶輪米山会（台湾学友会）の総会が、12月19日に台北市のシェラトンホテル台北で開かれました。台湾4都市に設立された本部・支部の米山学友とその家族150人が集まり、旧交を温め合いました。来賓の1人で、事実上の駐台大使である日本交流協会台北事務所・内田勝久所長の特別講演「日中台の政局舞台裏」では、ユーモアあふれるエピソードの中に、日本と台湾との絆の深さを改めて知らされました。

こうした学友の集まりで良く耳にする言葉があります。それは「日本のロータリアンと出会い、米山梅吉翁の精神を学んだ」と「ご恩返しをしなくてはならない」です。

総会の席上、新潟県中越地震への見舞い金30万円の贈呈がありました。これは中越地震の被害をテレビで見た学友の呼びかけで始められた募金です。地震の惨状と復興に汗を流すボランティアの姿を見て、「今こそご恩返しをしなくては」と扶輪米山会の陳 思乾理事長に電話で訴えたそうです。陳理事長は幹事を集めて相談をし、募金の実施を決めました。

同時に陳理事長は、被災地に留学した学友に対し、お世話になったロータリアンに電話して無事を確認するよう呼びかけました。ある学友は、「カウンセラーに何度も電話をかけてやっと夜中に通じ、ご家族の安否を尋ねたら、「元気ややっているか、子どもさんは元気か」と優しい声をかけられて逆に励まされた」と目を潤ませて話してくれました。困難な状況にあっても温かい気配りをしてくれるロータリアンに、「米山梅吉翁の精神」を見いだしたのではないのでしょうか。

(事務局長・宮崎幸雄)



陳理事長（右）に義援金の感謝状贈呈

6. カウンセラー研修会実施状況【中間報告】

カウンセラー研修会の推進が始まったのは2002年度。全地区開催を呼びかけた昨年は、24地区で実施され、約800人のカウンセラーが参加するまでに広がりました。3年目を迎えた今年度は、上半期中に14地区で実施されました。その中間報告をここに紹介いたします。

7割の地区で、カウンセラー同士の連帯と情報交換を目的に、グループディスカッションが行われています。「懇談会に参加して気づくことが多かった」「奨学生から逆に教えられた」「大人である奨学生との関係づくりへのヒントを得られた」「カウンセラーだけでなくクラブ全員で奨学生に声をかけることの大切さを知った」などの感想が寄せられ、普段カウンセラーとして感じていることを共有し、不安を解消できる効果が見られます。

また、地域の大学で教授となって活躍する学友を招くケースもあります。山形大学留学生センター助教授として留学生ケアを含めた活動をしているユウ ミンホアンさん（世話クラブ：第2760地区・津島RC）や、岡山大学で法学部教授として活躍する張 紅さん（世話クラブ：第2710地区・広島RC）です。元奨学生としての体験談を含め、カウンセラーとの関係づくりに奨学生がいかに戸惑いをもっているか、などの実感を伴った話は共感を呼ぶようです。主催する地区では、巣立った奨学生を講師として迎え入れることの喜びもあるようです。

年度末までの6カ月、各地区での工夫を凝らした研修会がこれからも繰り広げられます。

ロータリー米山記念奨学会ホームページでは「ハイライトよねやま」として最新ニュースをお伝えしています。月信等にご活用ください。ガバナー・理事・米山奨学委員長その他希望者にはe-mail等で配信しています。
<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

(財)ロータリー米山記念奨学会編集担当：峯 野津・大庭
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc 会館ビル8階
Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

| | | | |
|----------|--------|----|---------|
| 七飯 R C | 宮村 拓郎 | 会員 | 12月 6 日 |
| 小樽南 R C | 廣瀬 保男 | 会員 | 12月 7 日 |
| 苫小牧北 R C | 田辺 信夫 | 会員 | 12月15日 |
| 札幌南 R C | 平野 秋廣 | 会員 | 12月20日 |
| 札幌南 R C | 松家 治道 | 会員 | 12月20日 |
| 札幌南 R C | 鈴木 宏行 | 会員 | 12月20日 |
| 札幌南 R C | 横田 昭 | 会員 | 12月20日 |
| 岩見沢 R C | 竹内 友康 | 会員 | 12月22日 |
| 札幌東 R C | 佐藤 芳郎 | 会員 | 12月22日 |
| 札幌東 R C | 大 公一郎 | 会員 | 12月22日 |
| 札幌北 R C | 木村 芳江 | 会員 | 12月22日 |
| 札幌北 R C | 太田すみ子 | 会員 | 12月22日 |
| 札幌北 R C | 大西 忠男 | 会員 | 12月22日 |
| 登別 R C | 時田 捷司 | 会員 | 12月29日 |
| 小樽 R C | 金久保兵士郎 | 会員 | 12月30日 |
| 小樽 R C | 菰田 尚正 | 会員 | 12月30日 |

米山功労クラブ

| | |
|---------|---------|
| 美唄 R C | 12月30日 |
| 伊達 R C | 12月 7 日 |
| 岩見沢 R C | 12月22日 |
| 札幌北 R C | 12月22日 |

| | |
|---------|--------|
| 札幌南 R C | 12月20日 |
| 滝川 R C | 12月21日 |

米山功労者 (マルチプル)

| | | | | |
|------------|-------|----|---------|-----|
| 札幌はまなす R C | 坂田 文正 | 会員 | 12月 1 日 | (3) |
| 伊達 R C | 守谷 保夫 | 会員 | 12月 7 日 | (3) |
| 羽幌 R C | 成澤 卓爾 | 会員 | 12月14日 | (3) |
| 滝川 R C | 近藤良四郎 | 会員 | 12月21日 | (5) |
| 滝川 R C | 松橋 和博 | 会員 | 12月21日 | (2) |
| 滝川 R C | 篠島 弘 | 会員 | 12月21日 | (4) |
| 滝川 R C | 鈴木 忠弘 | 会員 | 12月21日 | (4) |
| 美唄 R C | 大竹 繁夫 | 会員 | 12月30日 | (3) |
| 岩見沢 R C | 北市 宗三 | 会員 | 12月22日 | (3) |
| 岩見沢 R C | 小林 弘明 | 会員 | 12月22日 | (4) |
| 岩見沢 R C | 倉増 秀昭 | 会員 | 12月22日 | (4) |
| 岩見沢 R C | 西村 芳徳 | 会員 | 12月22日 | (2) |
| 岩見沢 R C | 山本 公彦 | 会員 | 12月22日 | (3) |
| 札幌東 R C | 菊地 弘嗣 | 会員 | 12月22日 | (2) |
| 札幌東 R C | 名塩良一郎 | 会員 | 12月22日 | (7) |
| 札幌東 R C | 南部 晴生 | 会員 | 12月22日 | (4) |
| 札幌南 R C | 川井 一男 | 会員 | 12月20日 | (2) |
| 札幌北 R C | 谷口 良一 | 会員 | 12月22日 | (2) |
| 苫小牧北 R C | 中山 佳孝 | 会員 | 12月29日 | (2) |
| 苫小牧北 R C | 谷岡 裕司 | 会員 | 12月15日 | (3) |

ロータリー誕生100年記念植栽事業

札幌西北 R C 社会奉仕委員 藤 居 貢

本年度は国際ロータリーが100年を迎え、当クラブの記念事業として、地域社会に貢献してゆく活動計画の一環で、2004年10月27日(水曜日)手稲鉄北小学校に、学校の子供達とロータリー会員が共同で樹木の苗木の植栽事業を行いました。

この記念事業は、ロータリークラブの活動をよりよく理解していただくと共に、樹木の大切さと、苗木の生長を身近で見守っていける機会にできたらと考えて行ないました。

手稲鉄北小学校は、今年開校40周年にあたります。その記念事業の一翼を担うことになり、樹木の選定は学校と P T A をつなく広報誌の名称になっている、栴檀(センダン)の苗木10本を中心に、北海道の代表的樹木のアカエゾマツ5株、野球のバットの材料でおなじみのアオダモ5株を、悪天候の中ではありましたが、スコップで1本ずつ丁寧に植えることができ、学校や児童から大変喜んでもらうことが出来ました。



こんにちは！ 第3グループです



第3グループ ガバナー補佐 土谷茂樹
(江別西)

第3グループは道央圏の中央である美唄、栗沢、栗山、岩見沢、岩見沢東、江別、当別、江別西の8クラブから成っています。

岩見沢RCは会員数94名と最も多く、さすが柿本、望月(両人とも故人)の2人のガバナーを輩出しただけあって第3グループ内ではなにかにつけ一番重きを示しています。

栗沢RCは、28年前、私が分区代理の折に故青木一男ガバナーと最初に訪問したクラブでその土くさいあたたかさが忘れられなかったです。会員数26名では、クラブ運営も大変と思いますが、昨年は創立40周年記念式をきちんと行い、立派な記念誌も発行されました。

栗山RCは、会員数29名、会場のためか栗沢RCより明るい雰囲気がします。会長が若い女性ということもあるでしょう。長く会員であった方が死亡や退会をしてさびしいが、このクラブは捲土重来の力を見せてくれるものを持っておられます。更に次年度以降に期待するところ大です。

岩見沢東RCは、ベテランが多いクラブです。10月2日に体育の日記念として、岩見沢東ロータリークラブ杯争奪少年サッカー大会(写真1)を実施しました。大勢の会員も出席されましたが、少年の心にロータリーの文学がしみついていくでしょう。今年で7年目になると申します。



平成16年10月2日 体育の日記念第19回少年サッカー大会
「第7回岩見沢東ロータリークラブ杯争奪少年サッカー大会」(写真1)

当別RCは、北海道では珍しい城下町のロータリークラブです。島会長さん以下38名のまとまりも良く、ロータリー100周年を地元の人々と楽しもうと計画をなさっております。

美唄RCもベテランの多いクラブです。それだけに今一度ロータリー活動に新機軸を出して欲しいと思います。

江別RCは、加藤会長が常日頃申されておりますが、「家族ぐるみのロータリー」これは大変大切なことですが、果たしてどうなったことでしょうか。もう少し見守りたいと思います。

江別西RCは、会員数37名、なかなか会員が増加せず困っておりました。むしろ退会防止に力を入れております。そんなことで奉仕活動もなかなか思うようになりません。もう少し頭をやわらかくすることが必要でしょう。毎年2月にスノーフェスティバルで市民と交流(写真2)、フィンランドからきた留学生エーバ嬢とバナーの交換(写真3)やはり若い人は良いですね。



スノーフェスティバル会場で(写真2)



交換学生エーバさんとバナーの交換(増山会長エレクトと)
江別RCとの合同例会(写真3)

こんにちは！
第6グループです



第6グループ ガバナー補佐 関 幸吉
(倶知安)

我が第6グループは北海道有数の観光エリアである後志地域の小樽、小樽南、小樽銭函、余市、岩内、倶知安、蘭越の7クラブで構成されています。

道内2番目、全国10番目の歴史香る小樽RCでは、例会のゲスト(松村操さん)が縁で、貧村ポロヴィタ村への学校建設、運営資金などの支援活動を3年前より行っております。今年はチャリティーパーティの益金と会員募金を寄付し彼女の地道な活動を支援しています。



歴史と観光、古さと新しさが交差する街、小樽南RCは今年45周年を迎えます。創立以来

続く市内高校優秀卒業生の表彰や未来を担う子供たちの為に一昨年から始まったTブックスタートの事業など地域に密着した奉仕活動を積極的に行っています。

鯨御殿を望む小樽銭函RCは、銭函RC杯少年野球大会を開催して21回になります。小樽市



の東地区の10チームが参加し、2日間行いました。過去2名の甲子園出場者がおります。また、父兄から優勝旗を寄贈してもらい、年々盛大になりスポーツを通じ地域に貢献しております。

林檎の香り漂う余市RCは、豊富な魚介類が水揚げされる海の幸、林檎や葡萄などに代表される山の幸、ウイスキーを育てる温暖な気候に恵まれた余市の地で、創立以来44年、会員43名内女性4名と共に明るく楽

しいクラブ作りを目指し、青少年の交換留学生によって未来を担う青少年育成プログラムに力を入れ、奉仕活動に邁進しております。

北緯43度にある岩内RCは、近隣町村に、ロータリーを積極的にPRし、会員増強(特に女性会員)クラブ事務のOA化、IT化の推進などに力を入れております。今年はGSEにも協力いたしました。

豪雪の町、そして今年創立40周年を迎える倶知安RCは、年間70万人のスキー客が訪れ「スキーの町」を宣言している倶知安町ですが近年オーストラリアを中心とした外国人客にも注目の地となり、北海道遺産「スキーとニセコ連峰」として選定され、当クラブは今後何らかの形で、ロータリーとして関わりをもっていきたいと考えております。



温泉の香る蘭越RCは、会員数14名と少ないクラブですが、会員同士仲良く力を合わせて奉仕活動を行っています。今年は1人でも多く入会してもらう事を目標に頑張りたいと思います。

今年度、6グループではGSE受け入れ(倶知安RC)小樽3クラブは100周年記念事業「あなたの元気支援します」で、2月23日に受賞団体へ支援金を贈るなどアクティブな活動をしています。



ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

IMの記念講演・シンポジウムから

- | | |
|--|---|
| 「超我の奉仕 - ネパール支援の現状と展望」 島田輝男 2002 24p (D.2540秋田北区IM記念講演) | 「ポリオ撲滅運動に参加して：西太平洋地域ではポリオ撲滅できたのか」 高橋権也 2004 3p (D.2650第3組IM特別講演) |
| 「ネパール支援の現状と展望 - みんなで生きる為に」 小林 茂 (コーディネーター) 2002 15p (D.2540秋田北区IMシンポジウム) | 「生命の話をしましょう」 清水 哲 2004 2p (D.2650第3組IM特別講演) |
| 「経営と家族」 安田昭夫 2004 11p (D.2830南分区IM基調講演) | 「ロータリーに何ができるか」 宮崎茂和 (リーダー) 2003 9p (D.2650第5組IMパネルディスカッション) |
| 「私とロータリー」 小堀憲助 2004 13p (D.2670高知1,2分区IM記念講演) | 「これからのロータリーは如何にあるべきか」 伊与暁洋 (コーディネーター) 2003 10p (D.2650第5組IMパネルディスカッション) |
| 「ロータリー 100年に向かって」 千 玄室 2004 5p (D.2650第3組IM基調講演) | [上記申込先：ロータリー文庫 (コピー)] |

掲示板

例会の変更について

室蘭東RC

- 2月16日(水) 振替休会(2月19日)
2月19日(土) あれこれなんでも無料相談室
於：室蘭市民会館
2月23日(水) 100周年記念 第9グループ統一合同
夜間例会 於：蓬峯殿 18:30～

江別RC

- 2月24日(木) 23日(水)ロータリー 100周年記念例会
18:00～ 於：江別市民会館1階小ホール
江別・江別西合同例会

新潟・福井災害義援金報告の訂正

ガバナー月信11月号に掲載致しました内容に訂正がございますのでご報告申し上げます。

ご協力戴いたクラブ (記載もれ分)

芦別RC、札幌はまなすRC、札幌西RC、美唄RC
上記4クラブ名の掲載もれがございましたことを、謹んでお詫び申し上げます。

ガバナー事務所からのお願い

クラブの出席報告は、毎月の最終例会から15日以内
にお願い致します。(FAXもしくはE-mail)

変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例
会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場
合、所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、
入会日をお知らせ下さい。また会員にご不幸があった
場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、写真を同封の
上、至急ご報告願います。

クラブの移動例会等は地区内他クラブに周知して頂く
ため、変更日の50日前までにご連絡下さい。

各月ごとのクラブ会報を当該月の最終例会終了後、ま
とめて毎月ご送付下さい。

ガバナー月信へ原稿をお寄せ下さい。特にクラブの活
動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真
1～2枚をご同封願えればと考えています。原稿締切
日は毎月10日を予定しています。

12月会員増減数・出席率報告



| グループ | クラブ名 | 例会数 | 会員数 | | | | 出席率 |
|------|---------|-----|--------|----------|-----|-----|--------|
| | | | 04.7.1 | 04.12.31 | 増減内 | 内女性 | |
| 1 | 深川 | 3 | 40 | 40 | 0 | 1 | 84.21 |
| | 羽幌 | 3 | 47 | 47 | 0 | 1 | 78.78 |
| | 妹背牛 | 4 | 10 | 10 | 0 | 0 | 80.00 |
| | 小平 | 4 | 14 | 14 | 0 | 0 | 78.57 |
| | 留萌 | 4 | 59 | 54 | - 5 | 0 | 90.80 |
| 小計 | | | 170 | 165 | - 5 | 2 | 82.47 |
| 2 | 赤平 | 3 | 34 | 33 | - 1 | 2 | 86.53 |
| | 芦別 | 4 | 54 | 53 | - 1 | 0 | 89.06 |
| | 砂川 | 4 | 54 | 52 | - 2 | 0 | 96.67 |
| | 滝川 | 3 | 109 | 111 | 2 | 2 | 80.60 |
| 小計 | | | 251 | 249 | - 2 | 4 | 88.22 |
| 3 | 美唄 | 4 | 42 | 42 | 0 | 0 | 88.51 |
| | 江別 | 3 | 43 | 40 | - 3 | 1 | 90.83 |
| | 江別西 | 3 | 37 | 35 | - 2 | 3 | 87.03 |
| | 岩見沢 | 4 | 94 | 96 | 2 | 0 | 88.71 |
| | 岩見沢東 | 3 | 37 | 39 | 2 | 3 | 87.40 |
| | 栗沢 | 4 | 26 | 26 | 0 | 1 | 89.42 |
| | 栗山 | 3 | 29 | 30 | 1 | 2 | 91.72 |
| | 当別 | 3 | 38 | 39 | 1 | 1 | 87.18 |
| | 小計 | | | 346 | 347 | 1 | 11 |
| 4 | 札幌 | 4 | 123 | 129 | 6 | 0 | 97.35 |
| | 札幌あけぼの | 4 | 16 | 16 | 0 | 1 | 100.00 |
| | 札幌はなます | 3 | 24 | 24 | 0 | 4 | 82.61 |
| | 札幌北 | 3 | 49 | 49 | 0 | 5 | 90.78 |
| | 札幌モーニング | 4 | 54 | 56 | 2 | 0 | 65.47 |
| | 札幌西 | 4 | 69 | 73 | 4 | 3 | 92.58 |
| | 札幌西北 | 3 | 48 | 50 | 2 | 2 | 92.60 |
| | 札幌手稲 | 4 | 39 | 42 | 3 | 1 | 99.41 |
| 小計 | | | 422 | 439 | 17 | 16 | 90.10 |
| 5 | 札幌東 | 4 | 125 | 127 | 2 | 0 | 98.54 |
| | 札幌清田 | 3 | 26 | 27 | 1 | 5 | 100.00 |
| | 札幌幌南 | 4 | 69 | 70 | 1 | 0 | 100.00 |
| | 札幌真駒内 | 4 | 44 | 45 | 1 | 2 | 95.06 |
| | 札幌南 | 3 | 91 | 94 | 3 | 0 | 96.99 |
| | 札幌大通公園 | 3 | 19 | 20 | 1 | 4 | 73.33 |
| | 札幌セントラル | 3 | 19 | 20 | 1 | 8 | 85.00 |
| | 新札幌 | 4 | 36 | 34 | - 2 | 2 | 89.17 |
| 小計 | | | 429 | 437 | 8 | 21 | 92.26 |
| 6 | 岩内 | 3 | 33 | 33 | 0 | 0 | 85.00 |
| | 倶知安 | 5 | 54 | 54 | 0 | 3 | 78.00 |
| | 小樽 | 3 | 74 | 76 | 2 | 0 | 83.57 |
| | 小樽南 | 4 | 86 | 84 | - 2 | 0 | 83.66 |
| | 小樽銭函 | 3 | 23 | 25 | 2 | 2 | 88.00 |
| | 蘭越 | 4 | 14 | 13 | - 1 | 0 | 78.50 |
| | 余市 | 4 | 43 | 43 | 0 | 4 | 94.50 |
| 小計 | | | 327 | 328 | 1 | 9 | 84.46 |

クラブ数 72クラブ
 期首会員数 3,136人
 当月末会員数(女性) 3,146(93)人
 増加会員数 10人
 当月平均出席率 83.92%

| グループ | クラブ名 | 例会数 | 会員数 | | | | 出席率 |
|------|---------|-----|--------|----------|-----|-----|--------|
| | | | 04.7.1 | 04.12.31 | 増減内 | 内女性 | |
| 7 | 千歳 | 4 | 65 | 62 | - 3 | 2 | 79.50 |
| | 千歳セントラル | 3 | 30 | 28 | - 2 | 0 | 82.80 |
| | 恵庭 | 4 | 51 | 51 | 0 | 0 | 78.07 |
| | 北広島 | 3 | 19 | 19 | 0 | 2 | 90.74 |
| | 長沼 | 3 | 18 | 18 | 0 | 3 | 85.26 |
| | 由仁 | 3 | 15 | 15 | 0 | 0 | 88.89 |
| 小計 | | | 198 | 193 | - 5 | 7 | 84.21 |
| 8 | えりも | 3 | 24 | 23 | - 1 | 0 | 76.81 |
| | 三石 | 4 | 17 | 17 | 0 | 1 | 82.35 |
| | 様似 | 3 | 19 | 19 | 0 | 2 | 59.65 |
| | 静内 | 4 | 67 | 69 | 2 | 0 | 79.10 |
| | 浦河 | 3 | 40 | 40 | 0 | 1 | 92.50 |
| | 小計 | | | 167 | 168 | 1 | 4 |
| 9 | 伊達 | 3 | 56 | 58 | 2 | 0 | 78.03 |
| | 室蘭 | 3 | 51 | 53 | 2 | 0 | 93.59 |
| | 室蘭東 | 4 | 43 | 43 | 0 | 0 | 91.25 |
| | 室蘭北 | 4 | 37 | 37 | 0 | 2 | 100.00 |
| | 登別 | 3 | 39 | 40 | 1 | 2 | 82.50 |
| | 洞爺湖 | 4 | 10 | 10 | 0 | 0 | 72.50 |
| 小計 | | | 236 | 241 | 5 | 4 | 86.31 |
| 10 | 函館 | 4 | 101 | 100 | - 1 | 0 | 79.85 |
| | 函館亀田 | 4 | 42 | 43 | 1 | 1 | 75.00 |
| | 森 | 3 | 43 | 43 | 0 | 0 | 79.00 |
| | 七飯 | 3 | 24 | 23 | - 1 | 0 | 79.70 |
| | 長万部 | 4 | 13 | 13 | 0 | 0 | 71.10 |
| | 小計 | | | 223 | 222 | - 1 | 1 |
| 11 | 江差 | 4 | 16 | 14 | - 2 | 0 | 75.50 |
| | 函館五稜郭 | 4 | 68 | 64 | - 4 | 0 | 90.45 |
| | 函館東 | 4 | 50 | 47 | - 3 | 5 | 68.18 |
| | 函館北 | 4 | 37 | 37 | 0 | 0 | 82.02 |
| | 上磯 | 3 | 29 | 29 | 0 | 3 | 63.20 |
| | 松前 | 4 | 9 | 9 | 0 | 1 | 66.67 |
| 小計 | | | 209 | 200 | - 9 | 9 | 74.34 |
| 12 | 白老 | 2 | 29 | 26 | - 3 | 0 | 75.80 |
| | 苫小牧 | 4 | 56 | 59 | 3 | 0 | 78.65 |
| | 苫小牧東 | 3 | 32 | 32 | 0 | 3 | 83.33 |
| | 苫小牧北 | 4 | 41 | 40 | - 1 | 2 | 85.53 |
| 小計 | | | 158 | 157 | - 1 | 5 | 80.83 |
| 合計 | | | 3,136 | 3,146 | 10 | 93 | 83.92 |

2月・3月 地区カレンダー

| 2 月 | | 3 月 | |
|--|-----------------------------------|--------------------------|-----------------------|
| 世界理解月間/家族週間(第2週)/ロータリー創立記念日、世界理解と平和の日(2/23) 世界理解と平和週間(2/23~3/1) | | 世界ロータリーアクト週間(3/13を含む1週間) | |
| 1(火) | | 1(火) | |
| 2(水) | | 2(水) | |
| 3(木) | | 3(木) | |
| 4(金) | | 4(金) | |
| 5(土) | 小樽南RC創立45周年記念式典(18:00~,小樽グランドホテル) | 5(土) | |
| 6(日) | | 6(日) | 地区研修セミナー(ロイヤルホテル) |
| 7(月) | | 7(月) | |
| 8(火) | | 8(火) | |
| 9(水) | | 9(水) | |
| 10(木) | | 10(木) | |
| 11(金) | 建国記念日 | 11(金) | |
| 12(土) | | 12(土) | 函館五稜郭35周年記念式典(函館ロイヤル) |
| 13(日) | | 13(日) | |
| 14(月) | | 14(月) | |
| 15(火) | | 15(火) | |
| 16(水) | | 16(水) | |
| 17(木) | | 17(木) | |
| 18(金) | 国際協議会(アナハイム,塚原GE出席) | 18(金) | |
| 19(土) | 国際親善奨学生第3回オリエンテーション(14:00~) | 19(土) | |
| 20(日) | | 20(日) | 春分の日 |
| 21(月) | | 21(月) | |
| 22(火) | | 22(火) | |
| 23(水) | ロータリー創立記念日 | 23(水) | |
| 24(木) | | 24(木) | 恵庭RC35周年記念式典(恵庭市民会館) |
| 25(金) | ↓ | 25(金) | |
| 26(土) | | 26(土) | 財団米山セミナー(ロイヤルホテル) |
| 27(日) | | 27(日) | 会長エレクト研修セミナー(ロイヤルホテル) |
| 28(月) | | 28(月) | |
| | | 29(火) | |
| | | 30(水) | |
| | | 31(木) | |

ROTARY

International Service
100 Years



www.rotary.info



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL
2004-2005
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER